

保証書 (持込修理)

本書は、本書記載内容(下記規定)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。

保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品 番 **LS100**

シリアルNo.

お買い上げ日	年 月 日
お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。	
保証期間	対象部分 機器本体(消耗部品は除く) お買い上げの日から3年
お名前 お客様	様
ご住所 〒	TEL ()
店名・住所 販売店	上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。

<無料修理規定>

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本機及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
 - (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
 - (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (チ) 本体内蔵のバックアップ電池やディスプレイなどの付属品および消耗品の消耗による交換

5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

故障内容記入欄

※ 本書を紛失しないよう大切に保管してください。

※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

1 ボディタイプ
GPS アンテナ内蔵レーザー&レーダー探知機

LS100

取扱説明書

12V車専用



このたびは、ユピテル製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 本機を初めてご使用する場合は、この部分をお読みください。

4 確認とご注意

ページ

10 基礎知識

ページ

18 取り付け

ページ

38 待受について

ページ

49 警報について

ページ

- 機能のカスタマイズが必要な場合は、こちらをお読みください。

60 設定について

ページ

- 「故障かな？と思ったら」が記載されています。例外的な手順はこちらをお読みください。

79 その他

ページ

はじめに

安全上のご注意	4
使用上のご注意	8

基礎知識

各部の名称と働きについて	10
1. 付属品のご確認	11
2. 別売品のお知らせ	12
3. 付属品・別売品の追加購入について	13
本機について	14
1. 測位可能な衛星の種類	14
2. GPSの測位機能について	14
3. 受信可能な電波	15
4. 画面の明るさ調整(フレックスディマー)	15
取締のミニ知識	16
1. スピード違反の取締方法	16
2. 取締レーダー波について	16
3. 取締レーダー波/レーザー光を受信 しにくい場合	17
4. ステルス型取締について	17
オービス・取締系&コンテンツ データ更新について	17

取り付け

取り付けについて	18
本体の取り付け	18
A. ダッシュボードに取り付ける ①	19
B. ダッシュボードに取り付ける ②	21
電源コードの配線	22
A. シガープラグコードによる配線	23
B. 電源直結コード(OP-9U)による配線	24
C. OBDIIアダプターによる配線	25
メンテナンス(ヒューズの交換)	26
1. シガープラグコードのヒューズを交換する	26
2. 電源直結コードのヒューズを交換する	26
3. OBDIIアダプターのヒューズを交換する	27

操作方法

電源ON/OFFについて	28
1. 電源ONする	28
2. 電源OFFする	28
操作方法	29
1. 設定メニューの表示について	29
2. 音量の調整について	29
3. マナーモードについて	29
4. 待受変更について	30
5. 警報音のミュートについて	30
SDカードの取り外し/装着のしかた	31
1. SDカードを本体から取り外す	31
2. SDカードを本体へ装着する	31
マイエリアについて	32
1. マイエリアを登録する	32
2. マイエリアを解除する	32
マイキャンセルエリアについて	33
1. マイキャンセルエリアを登録する	33
2. マイキャンセルエリアを解除する	33
ログ機能について	34
1. 走行データを記録する	35
2. 走行データをコピーする	36
3. 走行軌跡を確認する	37

待受について

待受画面について	38
1. 待受画面の変更方法	38
2. 待受画面の説明	39
待受画面の種類について	40
1. レーダースコープ	40
2. カレンダー	40
3. 時計	40
4. 速度	40
5. エコドライブ	41
6. Gセンサー	41
7. 測位情報	41
8. プリセットA	42
9. プリセットB	42

10. ローテーション	42
11. OFF	42
項目変更のしかた	43
1. 表示項目を変更する	43
2. 項目設定一覧	45

警報について

警報画面について	49
1. 警報画面について	49
警報ボイスについて	50
1. GPS ターゲット 57 識別について	50
2. W アラーム (ダブルアラーム) について	54
3. オートクワイアットについて	54
4. 左右方向認識ボイスについて	54
5. オービスロケーションについて	54
レーザー式取締について	55
1. レーザー光受信機能について	55
取締レーダー波について	56
1. レーダー波 3 識別 (iDSP) について	56
2. 後方受信について	56
3. 接近テンポアップ (電子音選択時のみ) について	56
無線について	57
1. 無線 14 バンド受信機能	57
2. ベストパートナー 6 識別	59
3. 無線警報音について	59

設定について

設定変更について	60
1. 設定モード切替について	60
2. 設定変更のしかた	61
かんたんモードについて	62
1. かんたん設定について	62
通常モードについて	64
1. 待受設定について	64
2. 警報設定について	64
3. システム設定について	67
4. OBD 設定について	68

警報モードについて	69
マニュアル個別設定について	72
OBD について	76
1. 満タンスタートをする	76
2. 満タン補正をする	77
3. 係数補正をする	78

その他

故障かな?と思ったら	79
仕様	82
アフターサービスについて	83
1. お客様ご相談センター	83
保証書	裏表紙

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

- 危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

警告：「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。

注意：「軽傷を負うことや物的損害が発生する恐れがある」内容です。

絵表示について

- ❗ 必ず実行していただく「強制」内容です。
- 🚫 してはいけない「禁止」内容です。
- ⚠ 気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
- 👉 関連するページを示します。

●安全上お守りいただきたいこと

警告

- ❗ **異常・故障・破損時はすぐに使用を中止してください。**

そのまま使用すると、火災や発火、感電の恐れがあります。

＜異常な状態の例＞

- ・内部に異物が入った
- ・水に浸かった
- ・煙が出ている
- ・変な臭いがする

すぐに使用を中止し、電源コードを外して、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

● P.83「アフターサービスについて」

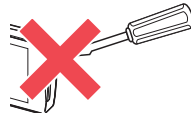
- ❗ **心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。**

- ❗ **持病をお持ちの方や妊娠の可能性がある、もしくは妊娠されている方は、本機を使用される前に医師にご相談ください。**

- ❗ **本機を長時間使用しない場合、本体から電源コードを外してください。**
車両バッテリーの放電や火災の原因となります。

- 🚫 **サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しないでください。**

感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。



- 🚫 **本機を次のような場所に保管しないでください。**

変色や変形、故障の原因となります。

- ・直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
- ・湿気やほこり、油煙の多い所
- ・ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

- 🚫 **本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高圧容器に入れたり、加熱したりしないでください。**

破裂、発火や火傷の原因となります。

- 🚫 **穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。**

感電や故障の原因となります。



- ❌ 病院内や航空機内など、使用が禁止されている場所では使用しないでください。

電子機器などが誤作動する恐れがあり、重大な事故の原因となります。

- ⚠️ SDカードおよびその他の付属品は、子供の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んでしまう恐れがあります。

⚠️ 注意

- ❌ 結露したまま使い続けしないでください。
故障や発熱などの原因となります。(気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。)

- ❌ 濡れた手で操作しないでください。
感電の原因となります。



- ❌ 落としたり、強いショックを与えないでください。

破損、故障の原因となります。

- ❌ 各端子に異物が入らないように、取り扱いにご注意ください。

故障の原因となります。

- ❌ 本体の近くに磁石などの磁気を帯びた素材を置かないでください。

故障の原因となります。

- ⚠️ 本機は精密機械です。

静電気/電気的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

●取り付けについて

⚠️ 警告

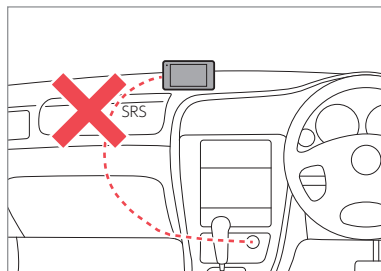
- ❗️ 取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能(ブレーキ、ハンドル等)の妨げにならない場所に取り付けてください。
誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

- ❗️ 粘着マット、粘着シートの貼り付け位置は、汚れ・ホコリを十分に落としてください。

粘着力を弱め、本機が脱落する恐れがあります。

- ❌ エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。

万一のとき動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、コード類が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。



⚠ 注意

- ❗ **取り付けは確実に行ってください。**
本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。
- ❗ **突起部分などにご注意ください。**
取り付けや取り外しの際、突起部分などでケガをする恐れがあります。

- ❗ **接続部は確実に奥まで差し込んでください。**
動作しない、火災や感電、故障の原因となります。

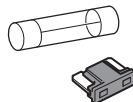
- ❗ **本機は車外に取り付けしないでください。**
本機は防水構造ではありません。(防水構造のあるアンテナ部は除く)

●電源コードについて

⚠ 警告

- ❗ **電源コードは確実に差し込んでください。**
接触不良を起こして火災の原因となります。
- ❗ **お手入れの際は、電源コードを抜いてください。**
感電の原因となります。
- ❗ **シガーライターソケットは単独で使ってください。**
タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。
- ❗ **シガーライターソケットやシガープラグコードのマイナス端子、プラス端子の汚れはよく拭いてください。**
接触不良を起こして火災の原因となります。

- ❗ **指定以外のヒューズは使用しないでください。**
指定以外のヒューズを使用すると異常過熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものと交換してください。



- ❌ **指定された電源電圧車以外では使用しないでください。**
火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。
- ❌ **コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。**
故障や感電の原因となります。



⚠ 注意

- ❗ **エンジンを止めてもシガーライターソケットに常時電源が供給される車種の場合、ご使用にならないときはシガープラグコードを抜いてください。**

- ❌ **シガープラグコードを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。**
コードに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ずコードを持たずに抜いてください。



●本機に操作・運転について

⚠ 警告

- ❗ 走行中は運転者による操作、画面の注視をしないでください。

このような行為は道路交通法第71条への違反となり処罰の対象となります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。交通事故やけがの原因となります。

- ❗ 海外ではご使用にならないでください。
本機は日本国内仕様です。

- ❗ 急発進したり急ブレーキをかけないでください。

安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

- ❗ 運転者は走行中に操作しないでください。

走行中の操作は前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。

●本機のお手入れについて

⚠ 注意

- ❗ 本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。

内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

- ❗ ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。

塗装面を傷めます。



●その他

⚠ 注意

- ❗ 車両から離れるときや使用しないときは、電源OFFしてください。

バッテリー上がりの原因となります。

●OBDIIアダプター（別売品）について

⚠ 注意

- ❗ OBDIIアダプターを抜くときは、電源ケーブルを引っ張らずに、アダプター本体を持って抜いてください。

ケーブルを傷つけ、感電やショートによる発火の原因となります。



- ❗ お手入れの際は、OBDIIアダプターを抜いてください。

感電の原因となります。

使用上のご注意

- 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からスピードの出し過ぎに注意し、安全運転をお心がけください。
- 電波の透過率が低いガラス（金属コーティングの断熱ガラスなど）の場合、電波が受信しにくくなり、GPS測位機能がはたらかない場合や、取締レーザー波の探知距離が短くなる場合があります。
- 一部の車種に採用されているUV、IRカットガラスのなかには、レーザー光の透過率が低く取締レーザー光の探知距離が短くなる、または受信できない場合があります。

- ・ 自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ・ 本製品の取り付けによりダッシュボードおよび車両の変色・変形(跡が残る)に関し、当社では補償いたしかねます。

■ レーダー／レーザーアラームに関する注意

- ・ 走行環境や測定条件などにより、取締レーザー波／レーザー光の探知距離が変わることがあります。
- ・ 狙い撃ちの取締機（ステルス型取締機）は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間にあわない場合があります。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
- ・ レーダー波を使用しない速度取締（光電管式など）の場合、事前に探知することができませんので、あらかじめご了承ください。
- ・ レーザー式車両検知器／自動車用先進運転支援システムの周辺では、取締レーザー光の探知距離が短くなる、または受信できない場合があります。
- ・ 取締レーザー光以外でも以下の周辺では反応する場合がありますが、これは誤動作ではありませんのでご了承ください。（レーザー式車両検知器／自動車用先進運転支援システムの一部）

■ GPS測位機能に関する注意

- ・ 本機を初めてご使用になる場合は、GPS測位が完了するまで20分以上時間がかかる場合があります。
- ・ 新たに設置されたオービスなどのターゲットは、GPS警報できませんのであらかじめご了承ください。
- ・ GPS警報の左右方向識別ボイスは、告知時点でのターゲット方向であり、右車線、左車線を示す訳ではありません。
- ・ 本機の警報はあらかじめ登録されたオービスや取締エリアなどのGPSターゲットとお客様が登録した位置のみ警報します。

■ 無線14バンド受信機能に関する注意

- ・ カーオーディオやカーナビ、カーエアコン、ワイパー、電動ミラーなどのモーターノイズにより、反応する場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・ 本機は、受信した音声聞くことができる交信音声受信機能（復調）を搭載しておりますが、デジタル方式や、デジタル信号での通信は、受信しても内容はわかりません。また、各無線交信は、数秒間で終わることが多いため、受信内容を完全に聞き取ることができない場合もあります。
- ・ カーロケーターシステムは、全国的に新システムへの移行が進んでいます。現在は受信可能な地域であっても今後、新システムへの移行により受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。新システムが導入された地域や、新システムに移行した場合、カーロケ無線の警報や、ベストパートナー6識別は、はたらかません。

■ 表示部に関する注意

- ・ 表示部を強く押ししたり、衝撃を与えないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
- ・ サングラスを使用時、偏光特性により、表示が見えなくなってしまうことがあります。あらかじめご了承ください。
- ・ 周囲の温度が極端に高温になると表示部が黒くなる場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありません。周囲の温度が動作温度範囲内になると、元の状態に戻ります。

本機は安全運転を促進するためのものです。本機を取り付けての違法行為（スピード違反など）に関し、当社では補償いたしかねます。

■ 取り付けに関する注意

- ・GPS衛星からの電波やレーザー波/レーザー光を受信しやすくするため、障害物や遮へい物のない視界の良い場所に取り付けてください。
- ・車載されている他の電装機器のアンテナの近くなど、他の電装機器の電波干渉によりGPS衛星の電波を受信できない場合があります。本機を取り付ける場所は、他の電装機器との間隔を十分取ってください。
- ・水がかかったり、熱風が当たる場所には取り付けしないでください。
- ・本機あるいは電源コードが、ドアの開閉部などにあたったり、はさまれないようにしてください。
- ・本機を道路に対して水平に、またレーザー/アンテナ部が進行方向に取り付けていないと、Gセンサーが正しく動作しないことがあります。
- ・本書に記載のある付属品や別売品以外は使用しないでください。それ以外を使用した場合の動作に関しては保証いたしかねます。

■ 画面表示に関する注意

- ・日付および時刻は、GPS測位により自動的に設定され、日付や時刻合わせの操作は不要です。(測位状況により日付や時刻が合わないことがあります。)
- ・時刻の表示は、24時間表示です。12時間表示に変更することはできません。
- ・走行速度やGPSターゲットまでの距離、自車アイコンは、GPSやGセンサー、VPSにより計測し表示させています。状況によっては実際と異なる場合もあります。
- ・車両の速度計は、実際より数値が高く表示される(プラス誤差)傾向があります。
- ・渋滞や低速走行時(発進直後を含む)は、速度表示を正しく表示しないことがあります。
- ・画面の時計表示は、GPS非測位中と電源ON直後の測位完了までの間赤色で表示し、測位すると白色に変わります。一度測位したあと、トンネルなどで測位できない状況になると赤色表示に変わり、再度測位すると白色表示に戻ります。
- ・液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。あらかじめご了承ください。

■ SDカードに関する注意

- ・SDカードは、本機専用でご使用ください。
- ・SDカードの出し入れは、本機を電源OFFした状態で行ってください。
- ・SDカードは一方方向にしか入りません。無理に押し込むと、本機やSDカードが壊れることがあります。
- ・SDカードに保存したデータが消失した場合でも、データなどの保証に関し、当社では補償いたしかねます。

■ 制限速度に関する注意

- ・本機の制限速度は、本機購入時以降に制限速度が変更されたなどの理由により、実際の制限速度と異なる場合があります。運転する際は、スピードを出し過ぎず交通規則に従い走行してください。

■ シガープラグコードに関する注意

- ・シガープラグコードは、必ず付属品をご使用ください。
- ・シガープラグコード内部には、ヒューズとスプリングが入っています。ヒューズが切れた場合は、部品の紛失に注意し、市販品の新しいヒューズ(1A)と交換してください。なお、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、シガープラグコードを抜いて、お買い上げの販売店、または、お客様ご相談センターにご相談ください。

■ 電源直結コード(別売品)で接続した場合

- ・電源直結コードには、ヒューズホルダーが接続されています。ヒューズが切れた場合は、部品の紛失に注意し、市販品の新しいヒューズ(1A)と交換してください。なお、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、本機から電源直結コードを抜いて、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターにご相談ください。

■ OBDIIアダプター(別売品)で接続した場合

- ・取り付ける車両によっては表示できない待受画面の項目があります。
- ・イグニッションをOFFにしてから本機を電源OFFするまで、数秒から数十秒かかります。
- ・車検、点検等の後は、故障診断装置接続の為本機のOBDIIアダプターが抜けている場合があります。その際は再度OBDIIコネクタへ本機のOBDIIアダプターを挿し込んでください。

■ 保証に関する注意

- ・本製品にはお買い上げ日から3年間の保証がついています。(ただし、電源コードなどの付属品ならびに、消耗品は保証の対象となりません。)

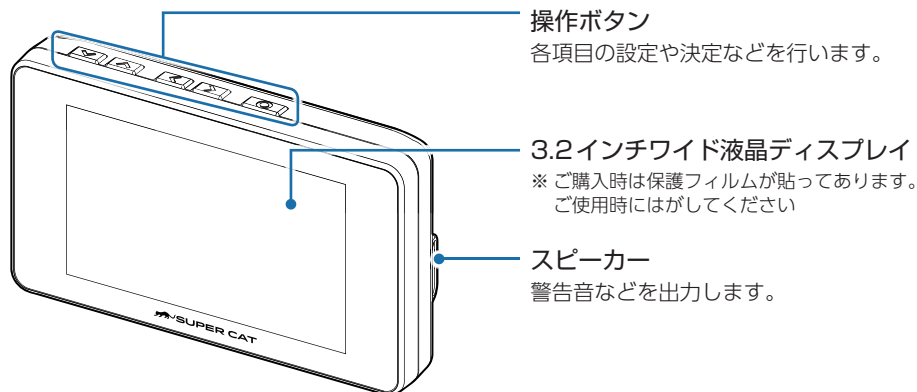
■ 他社製品との組み合わせに関する注意

- ・他社製品との組み合わせについては、動作検証等を行っておりませんのでその動作については保障することができません。あらかじめご了承ください。

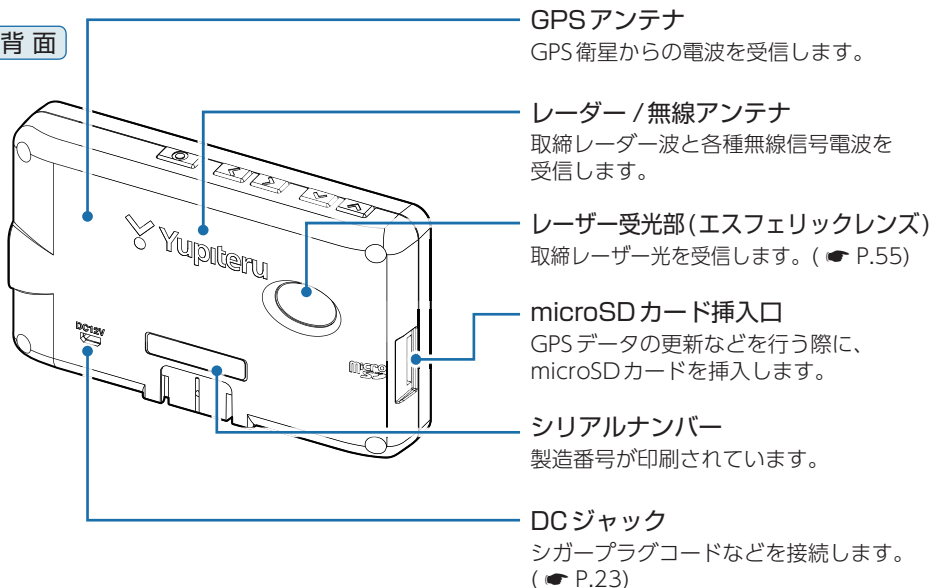
各部の名称と働きについて

■ 本体

正面



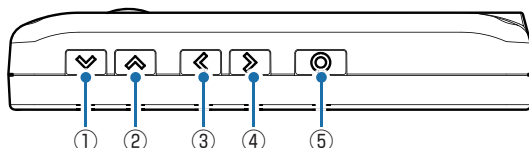
背面



⚠ 警告

本体のDC ジャックはUSB 端子ではありません。故障の原因となりますので、本体をパソコンなど他の機器のUSB 端子と接続しないでください。

● 操作ボタンの動作一覧



No.	ボタン	操作	非警報中(待受)	警報中(待受)	メニュー画面
①	▼	短押し	音量 DOWN	ミュート(● P.30)	カーソル移動
		長押し	音量 DOWN	音量 DOWN	—
②	▲	短押し	音量 UP	音量 UP	カーソル移動
		長押し	音量 UP	音量 UP	—
③	◀	短押し	待受画面切り替え	—	カーソル移動
		長押し	待受画面切り替え	—	—
④	▶	短押し	待受画面切り替え	—	カーソル移動 / 決定
		長押し	待受画面切り替え	—	—
⑤	○	短押し	設定メニュー画面表示	—	待受画面表示
		長押し	※ 1	—	—

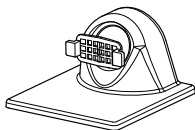
※ 1 : 「マイエリア (● P.32)」 「マイキャンセルエリア (● P.33)」 の登録 / 解除。

1. 付属品のご確認

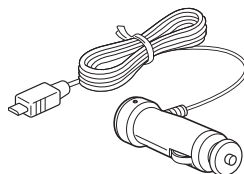
製品には万全を期しておりますが、欠品等ございましたら、お買い上げの販売店にお申し付けください。

■ ダッシュボード取付け用 ブラケット 1

※ 直付け用両面テープを使って取り付ける場合は使用しません。



■ シガープラグコード(ストレート ミニプラグ DC12V 出力) 3m 1



■ 粘着シート 1

※ 直付け用両面テープを使って取り付ける場合は使用しません。

■ 粘着マット 1

※ 直付け用両面テープを使って取り付ける場合は使用しません。

■ 直付け用両面テープ 1

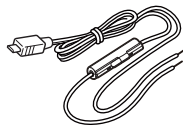
※ ダッシュボード取り付け用ブラケットを使って取り付ける場合は使用しません。

■ 取扱説明書・保証書(本書) 1

2. 別売品のお知らせ

■ 電源直結コード(約3m) OP-9U 本体 1,500円+税

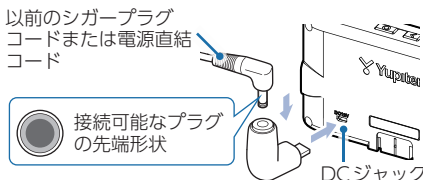
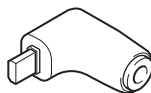
シガープラグコードのかわりに、車内のアクセサリ系端子から直接電源を取り出します。車両のシガーソケットを使用せずに本機をご利用頂けます。



■ DCプラグ⇒ミニプラグ変換コネクター OP-8U

本体800円+税

以前の弊社レーダー探知機で使用していたDCプラグタイプのシガープラグを使って、本体に電源を供給するための変換コネクターです。



~~DC 5V~~



電源電圧がDC5V仕様の場合使用できません。

■ OBDⅡアダプター

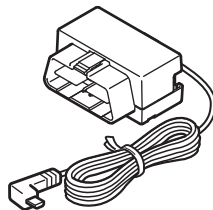
OBD12-MⅢ(約4m) 本体6,000円+税

国産8社に対応(トヨタ(ハイブリッド車含む)、日産、ホンダ、三菱、ダイハツ、スバル、マツダ、スズキ)

OBD-HVTM(約4m) 本体8,000円+税

トヨタハイブリッド車専用

- ・アクティブ機能対応
(車速感応ドアロック、エマージェンシーシグナル)



シガープラグコードの代わりに本機への電源供給を行うと同時に、車両のOBDⅡコネクターから車両情報を取得して待受画面に表示させたり、トンネル内など衛星情報が受信できない場所でも速度情報を取得できるので、より正確な警告を行うことができるようになります。

本機は、OBD12-MⅢ、OBD12-MⅡ、OBD-HVTM、OBD12-MのOBDⅡアダプターに対応しています。

本書では、個別の機種名を表記せず、OBDⅡアダプターと表記します。

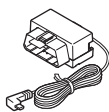
※ 適応車種については、店頭もしくは弊社ホームページのOBDⅡアダプター適応表にてご確認ください。

※ 適応車種であっても取り付けを推奨していない自動車メーカーもありますので、取り付けに関してはお客様のご判断で行ってください。

※ ディーラーに入庫する際は、OBDⅡアダプターを車両から取り外してください。ディーラーによっては入庫を断られることがあります。

トンネル内などGPS電波を受信できない場所では…

アダプターなし



があると…

アダプターあり



⚠ 注意

- ・OBDIIアダプター使用時、車種によっては画面に表示できない情報があります。詳細については、販売店の店頭や弊社ホームページでOBDIIアダプター適応表をご確認ください。
- ・OBDIIアダプターには、適応表が指定されています。販売店の店頭や弊社ホームページでOBDIIアダプター適応表をご確認いただいてからお求めください。

3. 付属品・別売品の追加購入について

- ・付属品や別売品などを追加購入される際は、機種名とともに「XX(機種名)用〇〇(必要な部品)」で、製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。
- ・弊社ホームページでご購入頂けるものもございます。詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

✧Yupiteru **スペアパーツ ダイレクト**
<https://spareparts.yupiteru.co.jp/>

本機について

本書では、特にことわりのない場合、「GPS」「みちびき」「グロナス」「ひまわり」「GAGAN」「GALILEO」を総称して「GPS」と表記しています。

1. 測位可能な衛星の種類

本機では、最大84基の衛星を受信することができます。

※ 2019年2月19日現在稼働数より(一時使用禁止衛星を除く)

※ 今後打ち上げられる、下記の測位システム衛星にも受信対応。

■ GPS(Global Positioning System)

衛星軌道上の人工衛星から発信される電波により、緯度・経度を測定するシステムです。

■ 準天頂衛星「みちびき」

「みちびき」からの信号を受信することにより、GPSのみによる測位に比べ、山間部や都心部の高速ビル街などでも、より正確な測位をします。

■ グロナス(Global Navigation Satellite System)

ロシアの衛星を利用し、地上での現在位置を計算するシステムです。

■ 運輸多目的衛星「ひまわり」

航空管制としての機能と気象観測の2つの機能を持つ静止衛星です。「ひまわり」からの信号を受信することにより、GPSの誤差を補正し、測位精度を向上します。

■ GAGAN(GPS Aided GEO Augmented Navigation)

インドの静止衛星型衛星航法補強システムです。

■ GALILEO(Global Navigation Satellite System)

EU(ヨーロッパ連合)の全地球航法衛星システムです。

2. GPSの測位機能について

GPSを利用して、取締レーダー波を発射しないループコイル、LHシステムのオービス(無人式自動速度取締装置)にも警報します。

また、固定設置式のオービスだけでなく、交通監視システムやNシステム、そして、過去に取締や検問が行われていた場所など、57種類のターゲットを識別してお知らせします。[GPS57識別]

■ クイック測位対応

前回電源OFFした時刻と自車位置情報を基に、GPS衛星位置を予測し、現在の自車位置をすばやく測位することができます。



■ VPS(バーチャルポジショニングシステム)

GPSで、自車の進行方向を検知して、ルートのずれを補正します。

GPS非測位時には、VPS(バーチャルポジショニングシステム)が行う進行距離計算によってより高精度な警告をすることができます。

■ G(加速度)センサー

Gセンサーで、自車の進行方向の変化を計測します。

■ OBDⅡ車速検知 (※別売品のOBDⅡアダプターで接続)

GPS電波を受信できないトンネル内でも、正確な車速情報を得ることができます。



Gセンサー、別売品のOBDⅡアダプターを接続することによるOBDⅡ車速度検知により、GPS電波の受信状態が良くない場所でも、高精度な警報を行うことが可能になります。

次の場合、フイック測位は機能しません。

- ・最後に本機を電源OFFした時と、次に電源ONした時のGPS衛星の状況が異なる場合。
- ・GPS電波の受信を妨げる遮へい物や妨害波がある(存在する)場所で本機を電源ONした場合。

3. 受信可能な電波

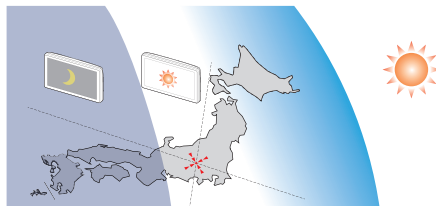
レーザー光、取締レーダー波のX・Kツインバンド、GPSの4バンドの他に、無線14バンド受信をプラスし、18バンド受信ができます。

$$\boxed{\text{レーザー光}} + \boxed{\text{GPS}} + \boxed{\text{Xバンド}} + \boxed{\text{Kバンド}} + \boxed{\text{無線14バンド}} = \text{18 BAND}$$

4. 画面の明るさ調整(フレックスディマー)

GPS情報等により、それぞれの地域および季節などに応じ自動的に画面表示の明るさを調整します。

また、OBDⅡアダプター(OBD12-MⅢ、OBD-HVTM)を接続し、イルミ信号を取得すると、本機の設定がイルミ連動になり、トンネルなどの急激な明るさの変化にも対応できます。



※ 図は説明のためのイメージです。実際の画面の明るさは異なります。

取締のミニ知識

本書では取締方法について、以下を想定して説明しています。

1. スピード違反の取締方法

取締の方法や種類をよく理解して、上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転心がけることが大切です。スピード違反の取締は大きく分けて4つの方法があります。

■ レーザー光を使って算出する方法(レーザー方式)

レーザー光を対象の車両に向けて発射し、その反射光で速度を算出します。



■ レーダー波を使って算出する方法(レーダー方式)

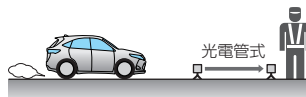
取締レーダー波を対象の車両に向けて発射し、その反射波の周波数変化(ドップラー効果)で速度を算出します。



※ 対象の車両が近くに来るまで、取締レーダー波を発射しないステルス型の場合、事前に探知できません。

■ 距離と時間で算出する方法(光電管・ループコイル式オービス)

一定区間を通過するのにかかる時間から速度を算出します。測定区間の始めと終わりに設置するセンサーには、赤外線や磁気スイッチなどが使われています。



※ この方式は取締レーダー波を発射しておりません。GPSターゲットとして登録されている場合のみ、警報することができます。

■ 追走して測定する方法(追尾方式)

指針を固定できるスピードメーターを搭載している白バイやパトカーで、対象の車両を追走して速度を測ります。



※ 追尾方式等で取締レーダー波を発射しない機械式の計測方法の場合は、探知することができません。

2. 取締レーダー波について

取締の方法や種類をよくつかんで、上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転心がけることが大切です。取締レーダー波は大きく分けて3つの種類があります。

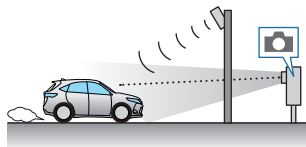
■ 定置式

人が測定装置を道路際に設置して行います。取締レーダー波は、直進性が強いので、発射角度が浅いほど、探知しやすくなります。



■ 自動速度取締機(新Hシステム、レーダー式オービス)

速度の測定と証拠写真の撮影を自動的に行います。



■ 移動式

測定装置を車両に搭載して、移動しながら測定を行います。



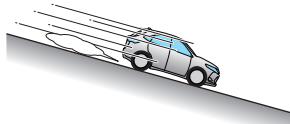
3. 取締レーダー波/レーザー光を受信しにくい場合

取締レーダー波/レーザー光の発射方法や周囲の環境、条件などにより、取締レーダー波を受信しにくいことがあります。

- ※ 対象の車両が近くに来るまで、取締レーダー波を発射しない狙い撃ち的な取締ができるステルス型のスピード測定装置があります。
- ※ 前方に走行している車両（とくに大型車）がある場合や、コーナー、坂道では、電波やレーザー光が遮断され、探知距離が短くなることがあります。スピードの出やすい下り坂では、とくにご注意ください。



〔前方に走行中の車両がある場合〕



〔下り坂〕



〔コーナー〕

4. ステルス型取締について

他の取締機と同じ電波を使用していますが、事前に探知（受信）されないようにするため、待機中は電波を発射せず、必要なときに短時間強い電波を発射して速度の測定ができる狙い撃ち方式の取締機です。



- ※ ステルス型取締機は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間にあわない場合があります。また、取締には電波を使用しない光電管式などもありますので、先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
- ※ 通常の電波を受信した場合でも、周囲の状況などにより、ステルス波を識別警報することがあります。
- ※ ステルス型取締機の電波を受信するとボイスでステルス波を識別警報します。

オービス・取締系&コンテンツデータ更新について

パソコンでのダウンロード、SDカードをお送りするお届けプラン、本体お預かり更新サービスで本機のオービス・取締系&コンテンツデータの更新を行っていただけます。

※ 本サービスは有料になります。詳しくは下記ホームページをご確認ください。

パソコンでのダウンロード、SDカードをお送りするお届けプランをご利用の際には、下記ホームページよりご利用の機種を選択のうえ、お申込み手続きを行ってください。

ity.クラブ / POWERED BY **Yupiteru** <https://ity.yupiteru.co.jp/>

電話でのお問い合わせは下記のフリーコールにてお願いします。

◆ユピテルity.クラブ窓口

受付時間 9:00 ~ 17:00 月曜日～金曜日（祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く）

0120-958-955

※ 本機お預かり更新サービスをご要望される場合は、お買い上げの販売店、または、お客様ご相談センターにご依頼ください。

取り付けについて

本機を使用する手順として「本体の取付け」「電源コードの配線」の手順に従って説明します。

⚠ 注意

- ・取り付けにより、ダッシュボードに跡が残ったり、変色や変形が生じることがあります。ご使用の有無に関わらず、車両への補償はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・ダッシュボードから外す場合は、ダッシュボード取り付け用ブラケットの下部を持って、ゆっくりと行ってください。本機やダッシュボード取り付け用ブラケット上部を持つと、破損の原因となります。
- ・GPS衛星から電波を受信しやすくするため、障害物や遮へい物のない視界の良い場所に取り付けてください。
- ・レーザー光を受信しやすくするため、本体のレーザー受光部付近に障害物が入らないように取り付けてください。

本体の取り付け

下記の2通りの取り付け方法があります。

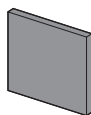
※ あらかじめ、取り付け面のホコリ・汚れをよく落とし、慎重に取り付けてください。

A. ダッシュボードに取り付ける ① (👉 P.19)

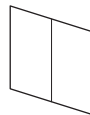
付属品



ダッシュボード取付け用ブラケット



粘着マット



粘着シート

※ 必要に応じて (👉 P.20)

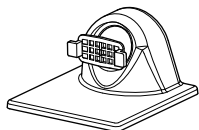
B. ダッシュボードに取り付ける ② (👉 P.21)

付属品



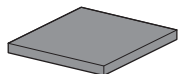
直付け用両面テープ

A. ダッシュボードに取り付ける ①



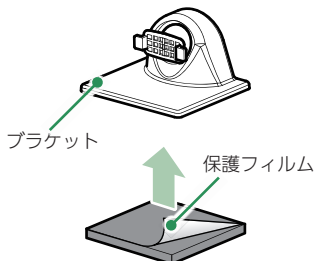
ダッシュボード取り付け用ブラケット[特許 第6078725号]
自由自在な角度調整が行えるボールジョイント方式のブラケットです。

粘着マット

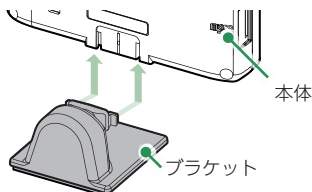


国土交通省の保安基準改正によるフロントガラスの取り付け規制に伴い、新素材の粘着マットを採用し、ダッシュボードへの取り付けをスマートにしました。強力な粘着力により、ダッシュボードに安定して設置できます。

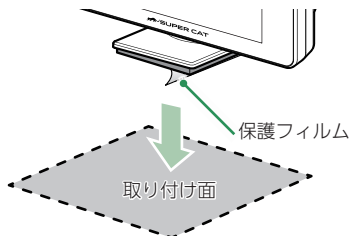
A-1 保護フィルムを片面だけ はがし、粘着マットをブラ ケットに貼り付ける



A-2 本体の溝をブラケットに合 わせ取り付ける

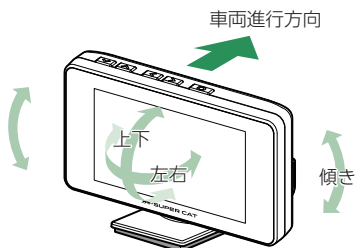


A-3 残りの保護フィルムをはがし、 ダッシュボードの取り付け面 に貼り付ける



粘着マットは水洗いできます
ホコリや汚れなどで粘着力が弱く
なった場合は、中性洗剤を使い水
洗いと粘着力が復元します。

A-4 本体の向きを調整する

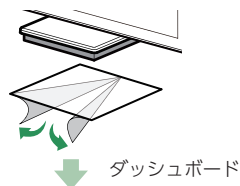


本体の背面を進行方向に向けて水
平な路面と並行になるように取り
付けてください。

※ 本体の背面を進行方向以外に向けた場合、
誤警報や警報しないことがあります。

粘着シート[特許 第5958927号]

粘着マットで安定した取り付けができない場合は、付属品の粘着シートを使用します。ダッシュボードに粘着シートを貼り付けた上に粘着マットを貼り付けます。粘着シートは、はがして再度貼り付けることができます。それでも安定した取り付けができない場合は市販品の強力型両面テープ(厚さ2mm以上)を使用し取り付けてください。



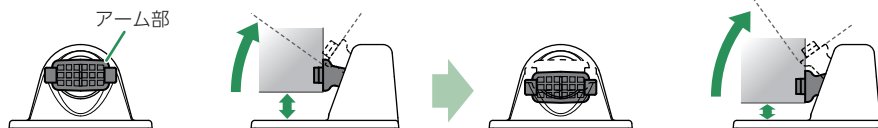
⚠ 注意

取り付け時のブレ防止のため、取り付けは固くなっています。ケガやブラケットの破損に十分な気をつけて行ってください。アーム部を取り外した際は、紛失に注意してください。

■ ダッシュボード取り付け用ブラケットの調整

ダッシュボード取り付け用ブラケットは、アーム部の取り付け向きを180度変えることで、本機の取り付け高さを抑えることができます。

アームの向きを変えると、本機を起こす方向は、より広い取り付け角度に対応することができますが、左右に倒す方向の取り付け角度は狭くなります。ダッシュボードの取り付け面の角度に応じて調整してください。

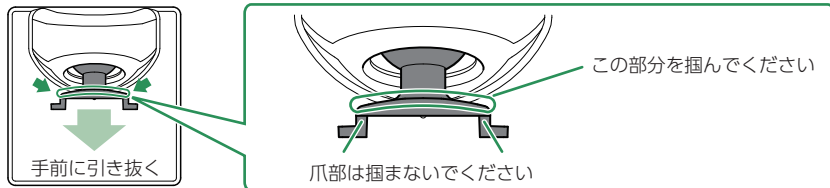


アーム部を180°反転して取り付ける

■ アーム部取り外し

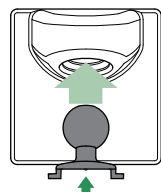
アーム部ツバの部分に布などで保護し、手前に引き抜きます。ラジオペンチなどを使用すると、簡単に抜けます。爪部をつかむと爪が折れる場合があります。

※ 必ず布などのやわらかいもので保護してください。



■ アーム部取り付け

アーム部を180°反転し、アーム部の中央をブラケットの穴に向かって、まっすぐに押し込んでください。



まっすぐ押し込む

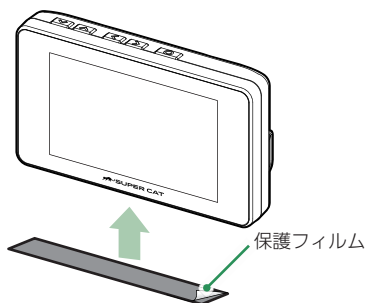
< 付替え後 >

アーム部の前面右側の爪に○の刻印があります。

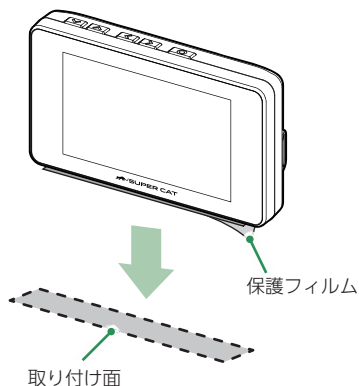


B. ダッシュボードに取り付ける ②

- B-1** 直付け用両面テープの保護フィルムを片側だけはがし、本体の底面に貼り付ける



- B-2** 残りの保護フィルムをはがし、ダッシュボードの取り付け面に貼り付ける



本体の背面を進行方向に向けて水平な路面と並行になるように取り付けてください。

- ※ 本体の背面を進行方向以外に向けた場合、誤警報や警報しないことがあります。
- ※ 取り付けたあと、はがすと粘着力が落ちます。再度取り付ける場合は、同等の両面テープ(市販品)をご用意ください。

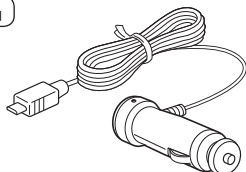
電源コードの配線

3種類の配線方法があります。いずれかの方法で配線してください。

※ 同時に複数の配線を行うことはできません。

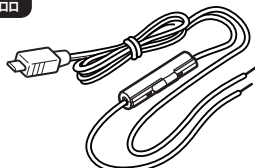
A. シガープラグコードによる配線 (P.23) B. 電源直結コードによる配線 (P.24)

付属品



シガープラグコード

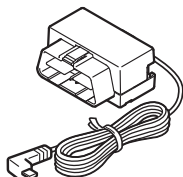
別売品



電源直結コード (OP-9U)

C. OBDIIアダプターによる配線 (P.25)

別売品



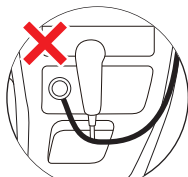
OBDIIアダプター

注意

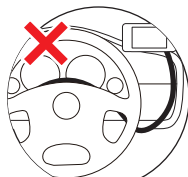
- ・ OBDIIアダプター使用時、車種によっては画面に表示できない情報があります。詳細については、販売店の店頭や弊社ホームページでOBDIIアダプター適応表をご確認ください。
- ・ OBDIIアダプターには、適応表が指定されています。販売店の店頭や弊社ホームページでOBDIIアダプター適応表をご確認いただいてからお求めください。

■ ご注意ください

特定の配線経路はありませんが、運転中の視界や操作の邪魔になったり、ドアやペダルなどの可動部に本機やコードが挟み込まれたり、当たったりしないようにしてください。



シフトレバー
操作の邪魔



ハンドル
操作の邪魔

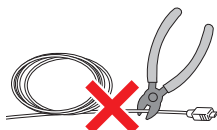


ペダル
操作の邪魔

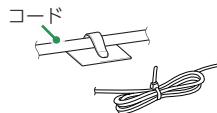


コードの
挟み込み

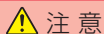
- ・ コードが長くても、切って短くしないでください。



市販品のコード固定クリップでコードをダッシュボードに固定したり、タイラップでコードを束ねることができます。



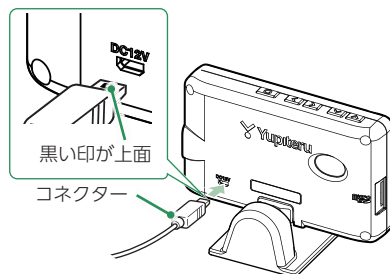
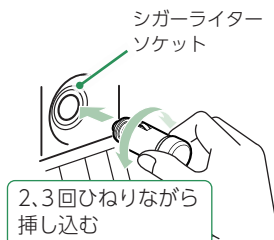
A. シガープラグコードによる配線



注意

一部の車種において、シガーライターソケットの形状が合わないことがあります。その場合は、別売品の電源直結コード(OP-9U)かOBDIIアダプター(P.12)をご使用ください。

A-1 シガープラグコードを接続する



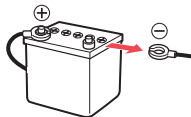
付属品のシガープラグコードを本体のDCジャックと車両のシガーライターソケットに接続します。

※ シガープラグコードのコネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない場合は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

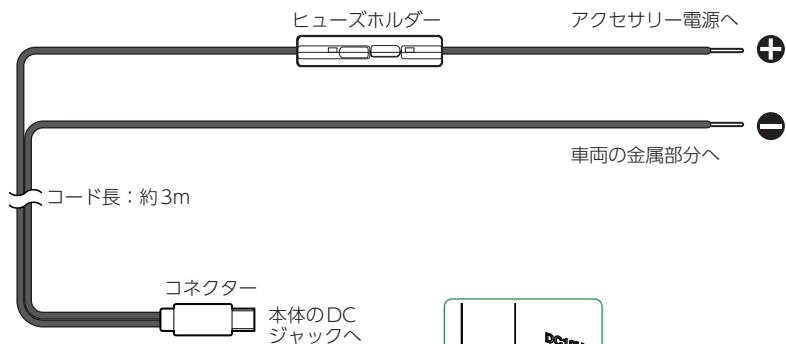
B. 電源直結コード (OP-9U) による配線

⚠ 警告

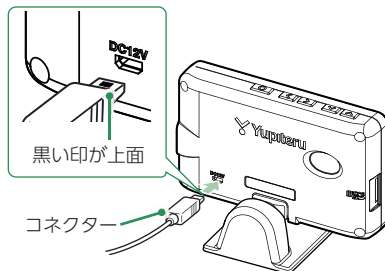
- ・作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
- ・カーナビやラジオ、オーディオなどが搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。



B-1 電源直結コードを接続する



+ コードは、必ずエンジンキーと連動してON/OFFする車両のアクセサリ電源に接続してください。



別売品の電源直結コードを本体のDCジャックと車両に接続します。

※ 電源直結コードのコネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない場合は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

C.OBDIIアダプターによる配線

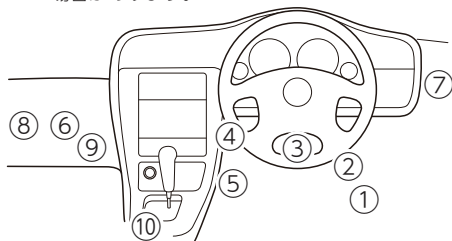
OBDIIアダプターのディップスイッチの設定が必要です。ディップスイッチの設定方法は、OBDIIアダプターの取扱説明書をご確認ください。対応車種については、店頭もしくは弊社ホームページより最新の適応表をご確認ください。

警告

故障の原因となりますので、必ずエンジンキーがOFFになっていることを確認してから、配線を行ってください。

■ OBDIIアダプター設置箇所

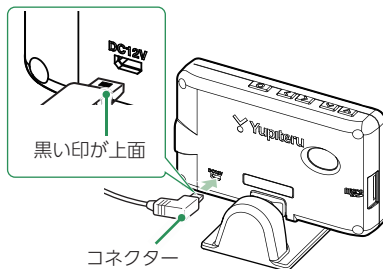
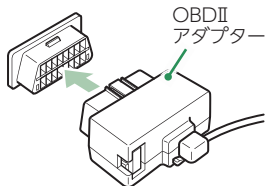
※ カバーやコンソールなどの内側になっている場合があります。



- ① アクセルペダル脇
- ② 運転席足元右側
- ③ 運転席足元中央
- ④ 運転席足元左側
- ⑤ センターコンソール右側
- ⑥ 助手席足元右側
- ⑦ ステアリング右脇パネル裏側
- ⑧ 助手席足元左側
- ⑨ センターコンソール左側
- ⑩ センターコンソール下

C-1 OBDIIアダプターを接続する

車両側OBDIIコネクター



別売品のOBDIIアダプターを本体のDCジャックと車両のOBDIIコネクターに接続してください。

※ OBDIIアダプターのコネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない場合は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

メンテナンス(ヒューズの交換)

接続状態でエンジンキーをONし、本体の電源スイッチがONの状態でも電源ONにならない場合は、ヒューズが切れている可能性があります。

1. シガープラグコードのヒューズを交換する

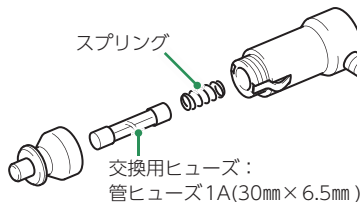
準備するもの: 管ヒューズ 1A(30mm×6.5mm)

1-1 キャップを外す



キャップを矢印の方向に回し、キャップを外します。

1-2 ヒューズを交換する



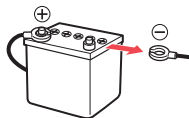
交換したあとは、外す時と逆方向に回してキャップを閉めてください。
※ スプリングの紛失に注意してください。

2. 電源直結コードのヒューズを交換する

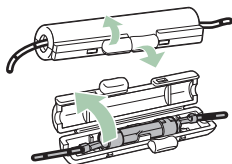
準備するもの: 管ヒューズ 1A(30mm×6.5mm)

警告

- ・作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
- ・カーナビやラジオ、オーディオなどが搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。



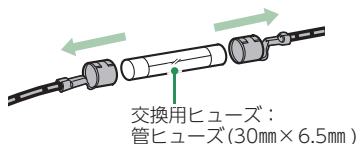
2-1 ヒューズを取り出す



ヒューズホルダーを開け、ヒューズを取り出します。

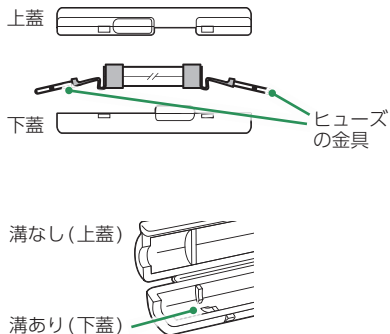
※ ヒューズは白線付き黒コードと一緒に取り外します。

2-2 ヒューズを交換する



白線付き黒コードからヒューズを取り外し交換します。

2-3 ヒューズをヒューズホルダーに入れる



下蓋に溝に合わせてはめ込んでください。

※ ヒューズの金具は、上蓋に接触しないように上図の向きにしてください。

ヒューズの金具は、必ず左右同じ方向に向けてください。



※ 上蓋の突起に接触し、破損・故障の原因となります。

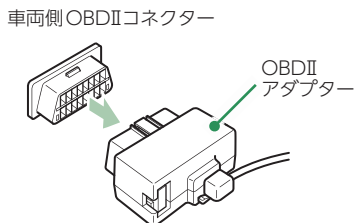
2-4 ヒューズホルダーを閉じる

取り付け

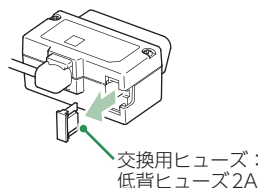
3. OBDIIアダプターのヒューズを交換する

準備するもの：低背ヒューズ 2A

3-1 OBDIIアダプターを車両側OBDIIコネクターから外す



3-2 新しいヒューズと交換する

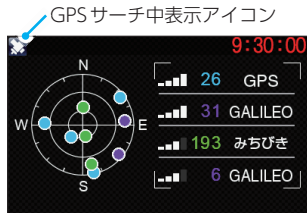


ペンチなどでヒューズを取り出し、新しいヒューズを差し込んでください。

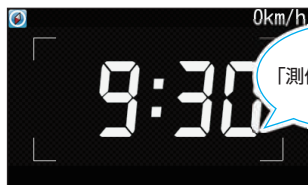
電源ON/OFFについて

1. 電源ONする

1-1 車両のエンジンをONする



測位情報
＜GPS非測位時＞



＜GPS測位時＞

本体の電源も連動してONになります。

必ず『測位しました』のボイスを確認してから走行してください。

※ GPS測位中はGPSサーチ中表示アイコンを点滅表示します。(P.39)

※ GPS非測位時は、待受画面「レーダースコープ」「カレンダー」「時計」「速度」「エコドライブ」は表示されません。測位するまで「測位情報」が表示されます。

※ GPS非測位時は時計色が赤色になります。

※ GPSの測位状況によっては、待受画面が表示されず、いきなり警告画面が表示される場合があります。

※ 初めてOBDIIアダプターを車両に取り付けた場合、本体の起動に数分かかることがあります。

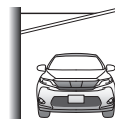
- 次のような場合、電源ONしてから『測位しました』と音声が出るまでに、時間がかかる、もしくは測位できない場合があります。

その場合は、障害物や遮へい物のない視界のよい場所へ移動し、車両を停車してください。

建物の谷間



屋根の下



2. 電源OFFする

2-1 車両のエンジンをOFFする

本体の電源も連動してOFFになります。

※ 車種によってはエンジンキーをOFFにしても、電源OFFにならない場合があります。その場合は、本体から電源コードを外してください。

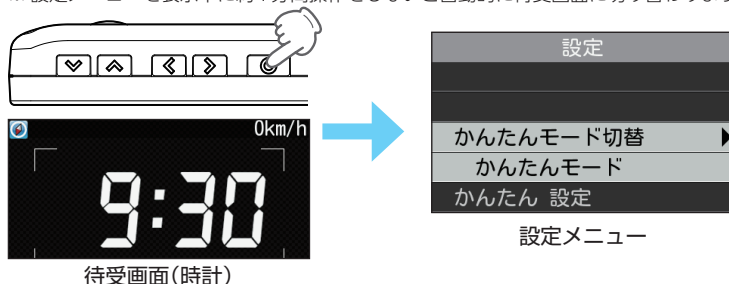
※ OBDIIアダプターで配線を行った場合、エンジンキーをOFFにしたあと、電源OFFになるまで車種によって数秒から数十秒かかります。また、OBDIIアダプターで接続した場合は、本体から電源コードを外さないでください。

操作方法

1. 設定メニューの表示について

待受画面で[○]ボタンを押すと設定メニューを表示できます。

※ 設定メニューを表示中に約1分間操作をしないと自動的に待受画面に切り替わります。



2. 音量の調整について

待受画面で[▼][▲]ボタンを押すと音量を調整できます。『ピッ』という確認音で音量を確認してください。

※ 音量は0~7の8段階で調整できます。初期値は7です。

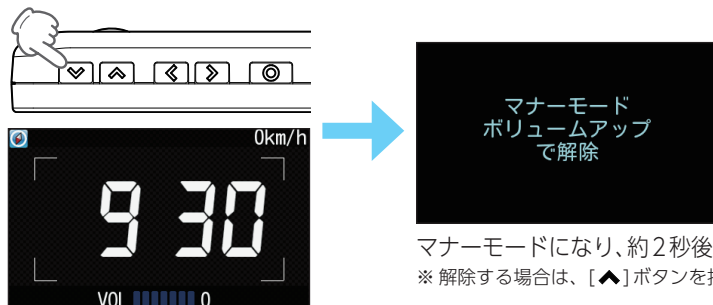
※ 0にした場合、音声による警報は行いません。

※ VOL7(最大)からさらに[▲]ボタンを押すと『ブッ』と鳴ります。



3. マナーモードについて

画面表示を消し、音声および画面によるすべての警報を行わないようにすることができます。VOL0(消音)の状態から[▼]ボタンを押すとマナーモードになります。



マナーモードになり、約2秒後に画面表示が消えます。

※ 解除する場合は、[▲]ボタンを押してください。

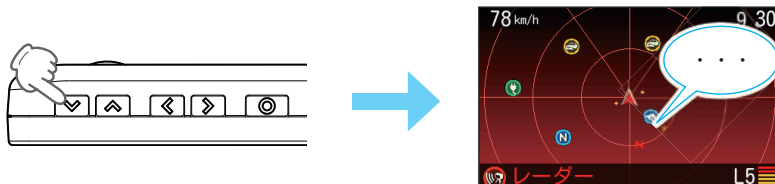
4. 待受変更について

待受画面で[◀][▶]ボタンを押すと待受画面を変更できます。



5. 警報音のミュートについて

レーダー/レーザー警報中に[▼]ボタンを押すと、受信中の電波を受信しなくなるまで警報音を一時的に消す(ミュートする)ことができます。



※ 解除する場合は、[▲]ボタンを押してください。

SDカードの取り外し/装着のしかた

本書では、特にことわりのない場合、「microSDカード」を「SDカード」と表記しています。

※ 本機と市販品のSDカードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。

※ 本機は、4GB以上、32GB以下のSDHCカードに対応しています。

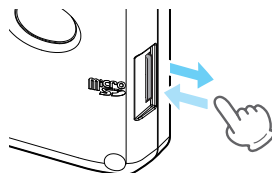
⚠ 注意

- ・ microSDカードの出し入れは、必ず電源OFFの状態で行ってください。
- ・ microSDカードは一方方向にしか入りません。下図のように挿入してください。無理に押し込むと、本体が壊れることがあります。

1. SDカードを本体から取り外す

1-1 車両のエンジンをOFFする

1-2 SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く

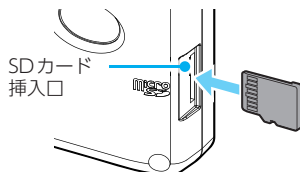


※ SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

2. SDカードを本体へ装着する

2-1 車両のエンジンをOFFする

2-2 SDカードを挿入する



SDカード挿入口に『カチッ』と音がするまで押し込んでください。

マイエリアについて

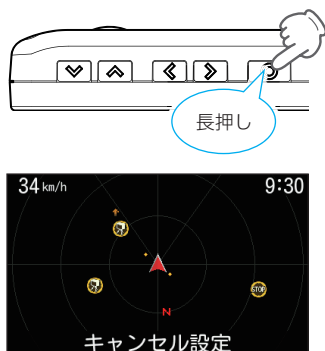
移動オービスがよく出没する地点や、新たに設置されたオービスポイントなどを登録でき、2回目以降通過時に警告させることができます。

※登録数は、マイエリア、アイキャンセル、マイキャンセルエリアの合計で10,000箇所まで可能です。

10,000箇所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

1. マイエリアを登録する

1-1 登録したい地点で[●]ボタンを長押しする



※画面下のメッセージは約10秒間表示します。

1-2 約10秒以内に[➤]ボタンを押す



「マイエリアをセットしました」とお知らせし、登録します。

※GPSを受信できていない場合、マイエリアは登録できません。

マイエリアに近づくと…

手前約1km / 500mと通過時の3段階で警告します。

〈手前約1km(500m)のとき…〉

『右(左)方向 1km(500m)先 マイエリアです』とお知らせします。

※GPS測位状況や走行ルートによって、距離の告知(『1km先』、『500m先』)を『この先』や『300m先／200m先／100m先／すぐ先』とお知らせすることがあります。

2. マイエリアを解除する

2-1 マイエリア登録された地点で上記手順「1-1～1-2」を行う

「マイエリアを解除しました」とお知らせし、解除します。

※すべてのマイエリアを解除(消去)したい場合は、設定メニューから行ってください。
(● P.62、67)

マイキャンセルエリアについて

自動ドアなど、取締機が設置されていないにもかかわらずレーダー波の受信警報がよく鳴る地点を登録することができ、通過時にレーダー波の受信警報をキャンセルします。

※ 登録数は、マイキャンセルエリア、マイエリア、アイキャンセルの合計で10,000箇所まで可能です。10,000箇所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

※ マイキャンセルエリアは、レーダー波の受信警報をキャンセルするもので、レーザー光/GPS57識別や無線14バンド識別、ベストパートナー 6 識別の警報はキャンセルできません。

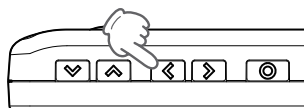
1. マイキャンセルエリアを登録する

1-1 登録したい地点で[○]ボタンを長押しする



※ 画面下のメッセージは約10秒間表示します。

1-2 約10秒以内に[◀]ボタンを押す



「マイキャンセルエリアにセットしました」とお知らせし、登録します。

※ GPSを受信できていない場合、マイキャンセルエリアは登録できません。

マイキャンセルエリアに進入すると…

登録したマイキャンセルエリアのポイントから半径約200mのエリアに侵入し、レーダー波を受信するとレーダー警報音をキャンセルします。

2. マイキャンセルエリアを解除する

2-1 マイキャンセルエリア登録された地点で上記手順「1-1 ～ 1-2」を行う

「マイキャンセルエリアを解除しました」とお知らせし、解除します。

※ GPSを受信できていない場合、マイキャンセルエリアは解除できません。

※ すべてのマイキャンセルエリアを解除（消去）したい場合は、設定メニューから行ってください。（▶ P.62、67）

ログ機能について

ログ機能をONにすると、走行データ(約18時間分)を本機に記録します。記録したデータは、市販品のSDカードにコピーし、パソコンで走行軌跡を確認することができます。

- ※ 下記以外のパソコン環境や地図ソフト、市販品のデータロガーでの動作確認は行っておりません。
- ※ 走行軌跡はパソコン上の地図や地形とずれることがあります。
- ※ 測位状況および走行の状況によりログ記録時間は異なります。
- ※ 非測位時、時速10km未満の場合は記録されません。
- ※ ログの残量表示は待受画面の画面左上にパーセント表示されます。(「レーダースコープ」[OFF]の場合は除く)
- ※ 記録容量が100%になった場合は、自動的にログ機能をOFFにし、100%の表示を残します。
- ※ 記録容量が100%になっている場合は、ログ機能をONにすることはできません。
- ※ ログ機能ON中は常に走行データを記録します。日時別の保存や管理は行っておりません。
- ※ 記録容量が100%になり、ログ機能がOFFになっても初期化されず100%の表示は残ります。初期化する場合は、設定メニューから行ってください。(▶ P.62、67)
- ※ 走行記録を消去する場合は、設定メニューから行ってください。(▶ P.62、67)

・下記の条件を満たしたインターネットに接続が可能なパソコン

OS : Microsoft Windows 10、8、7

・ご用意いただくもの

- ※ microSDカード(4GB以上、32GB以下のSDHCカード)
- ※ SDカードリーダー(使用するSDカードに対応のもの)
- ※ GoogleよりGoogle Earthをダウンロードしてください。
- ※ 弊社ホームページ(<https://www.yupiteru.co.jp>)をご覧ください。オリジナルログデータ変換ソフト(YP_LogDataConverter.exe)をダウンロードしてください。

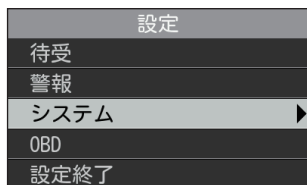
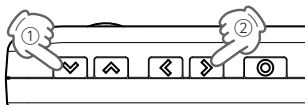
1. 走行データを記録する

1-1 待受画面で[●]ボタンを押す



※ [かんたんモード]の場合は、[通常モード]に切り替えてください。(▶ P.60)

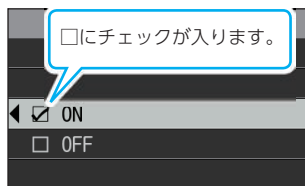
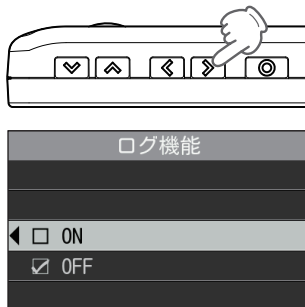
1-2 [▼]ボタンを数回押して[システム]を選択し、[▶]ボタンを押す



1-3 [▼]ボタンを数回押して[ログ機能]を選択し、[▶]ボタンを押す

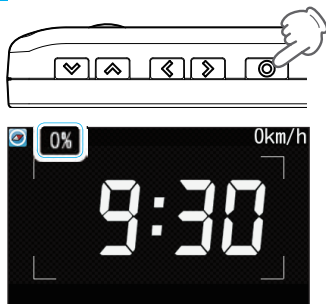


1-4 [▶]ボタンを押して[ON]を選択する



ログ機能が[ON]になります。

1-5 [●]ボタンを押す



待受画面に戻ります。
ログの記録容量を画面左上に表示します。

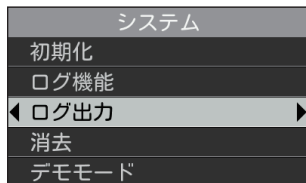
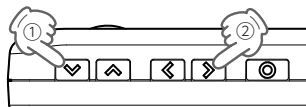
1-6 走行して走行データを記録する

2. 走行データをコピーする

2-1 市販品のSDカードを本体に装着する(☞ P.31)

2-2 ☞ P.35手順「1-1 ~ 1-2」を行う

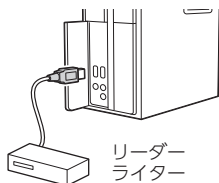
2-3 [▼]ボタンを数回押して[ログ出力]を選択し、[▶]ボタンを押す



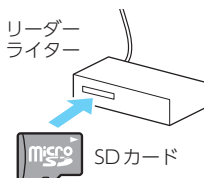
走行データがSDカードにコピーされます。

3. 走行軌跡を確認する

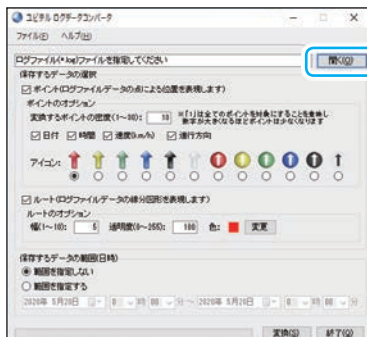
3-1 リーダーライターをパソコンに接続する



3-2 走行データをコピーしたSDカードをリーダーライターに接続する



3-3 ユピテルログデータコンバータを起動する



「開く」ボタンをクリックし、SDカードの走行データ(※.Log)を選択する。

3-4 保存する



「変換」ボタンをクリックしお好みのファイル名と保存先を指定し、保存する。

※ アイコンなどの詳細な設定は弊社ホームページ (<https://www.yupiteru.co.jp>) をご覧ください。

3-5 保存したファイルを開く

Google Earthの画面上に走行軌跡が表示されます。

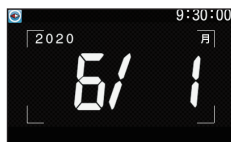
※ 走行軌跡はパソコン上の地図や地形と必ずしも一致しません。ズレて表示されることがありますのでご了承ください。

待受画面について

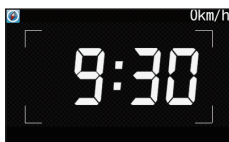
警報やお知らせがない時に、運転に役立ついろいろな情報を表示するのが待受画面です。待受画面は9種類と、すべての待受画面を順番に表示する[ローテーション]と待受画面を表示しない[OFF]があります。



レーダースコープ



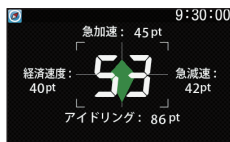
カレンダー



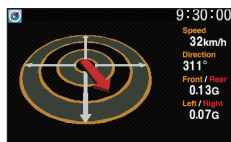
時計 (初期値)



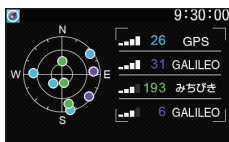
速度



エコドライブ



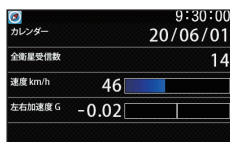
Gセンサー



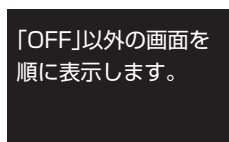
測位情報



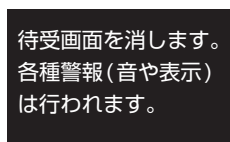
プリセットA※1



プリセットB※1



ローテーション



OFF

※ 1：表示項目を変更して、お好みの情報を表示できます。(◀ P.43)

※ GPSを測位していない場合、「レーダースコープ」「カレンダー」「時計」「速度」「エコドライブ」は表示されず、「測位情報」が表示されます。

※ 日付および時刻は、GPS測位機能により自動的に設定され、日付や時刻合わせの操作は不要です。

※ GPS非測位時は右上の時計色が赤色になります。(測位状況により日付や時刻が合わないことがあります。)

※ 時刻の表示は、24時間表示です。

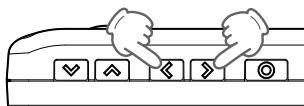
※ 走行速度はGPSの情報に基づき表示します。別売品のOBDIIアダプターで接続した場合は、OBDII車速情報に基づき表示します。また、車両の速度計は、数値が高く表示される(プラス誤差)傾向があります。

※ OBDII接続の場合でも車両の速度計とは一致しません。

※ 補正機能はありません。

1. 待受画面の変更方法

1-1 待受画面で[◀]ボタン、または[▶]ボタンを押す



[◀]ボタン、または[▶]ボタンを押すたびに、待受画面が順番に切り替わります。

2. 待受画面の説明

■ ターゲット表示について

警報時には、画面下に情報をお知らせします。レーダースコープでは自車とターゲットの位置関係がわかります。

※ 待受画面「OFF」では表示しません。

●GPS ターゲット警報時

ターゲット名: ループコイル
ターゲットまでの距離: 445m
ターゲットの制限速度: 50

●レーザ光受信時

レーザー

警報の種類

●カーロケ受信時

カーロケ近接

警報の種類

●無線受信時

取締無線

警報の種類

その他の無線警報例

- デジタル無線
- 消防無線
- 警活系無線

●レーダー波受信時

ステルス

警報の種類

L5

警報レベル

※ レーダー波や無線の発信源の位置や距離については表示されません。

■ アイコン表示について (画面左上に表示)

※ 待受画面が「レーダースコープ」「OFF」の場合は表示されません。



No.	表示名	アイコン	説明
①	方位磁針表示		衛星を測位後に表示し、走行すると赤色の針が北方向を指します。 (停車状態のままでは針が青色で動きません。)
②	GPS サーチ中表示		電源をON後に衛星を測位するまでの間や、測位した後一定の間衛星を受信できなくなった場合に点滅表示します。
③	カーロケ近接受信表示		カーロケ無線の近接受信時と圏内判定中に点滅表示します。
④	取締・検問エリア表示		取締エリア、検問エリア内で点滅します。
⑤	駐車禁止監視エリア表示		駐車禁止監視エリア内で表示します。 左：駐禁最重点エリア、右：駐禁重点エリア
⑥	車上狙い多発エリア		車上狙い多発エリア内で表示します。
⑦	ミュート表示		ミュート機能が作動中に表示します。

待受画面の種類について

1. レーダースコープ

現在地周辺の、本機に登録されたターゲットに近づくと、現在地との位置関係をイメージで表示し、お知らせします。

- ※ 制限速度表示は、オービス (ループコイル/LHシステム/新Hシステム/レーダー式オービス/レーザー式オービス) と一部の取締エリア警報時に表示します。
- ※ 表示される時刻・速度・距離は、衛星の受信状況により、ずれることがあります。
- ※ 走行速度やターゲットまでの距離、自転車アイコンは、衛星やVPSにより計測し表示させています。状況によっては実際と異なる場合があります。
- ※ 衛星の電波を受信できなくなった場合、現在時刻表示が赤色になり、速度が表示されなくなります。
- ※ 画面上に地図・地名・道路・建物等は表示しません。

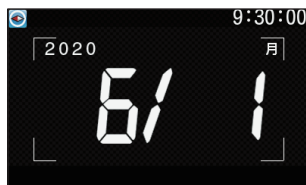


速度オーバーの場合は、走行速度が赤くなります。

2. カレンダー

日付を表示します。

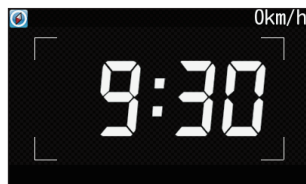
- ※ 衛星の受信状況により合わない場合があります。



3. 時計

現在時刻を表示します。右上に速度表示します。

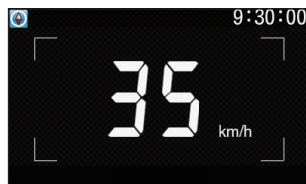
- ※ 衛星の受信状況により合わない場合があります。



4. 速度

車両速度を表示します。

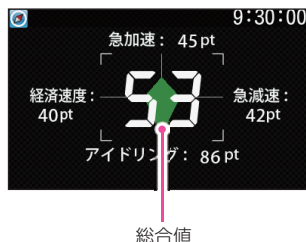
- ※ 速度の数値は衛星の受信により合わない場合があります。



5. エコドライブ

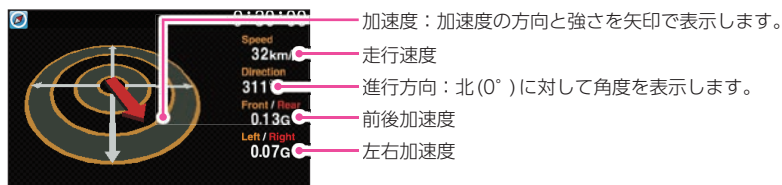
急加速、急減速、アイドリング時間、経済速度などからエコポイントを算出し、表示します。

- ※ GPS測位できない場合は、各項目の採点はいりません。
- ※ GPS電波を受信できない場合でも、各項目の採点を行います。
- ※ 速度データをもとに評価するものです。目安としてお考えください。
- ※ エコドライブの初期化を行うと、各ポイントが初期値の70ptになります。(● P.62、67)
- ※ 実際の交通規制に従って走行してください。
- ※ データ消去を行うと、元には戻せませんので、ご注意ください。
- ※ 各ポイントを個別にリセットすることはできません。



急加速	急加速と判断するとポイント(pt)を減点します。(初期値: 70pt)
急減速	急ブレーキなどによる急減速と判断するとポイント(pt)を減点します。(初期値: 70pt)
アイドリング	エンジン始動後、停車している時間が長いとポイント(pt)を減点します。(初期値: 70pt)
経済速度	時速60km前後での走行と判断するとポイント(pt)が加点され、高速、低速での走行と判断するとポイント(pt)を減点します。(初期値: 70pt) ※ 実際の交通規制に従って走行してください。
総合ポイント	「急加速」「急減速」「アイドリング」「経済速度」の各ポイント(pt)の平均を算出します。

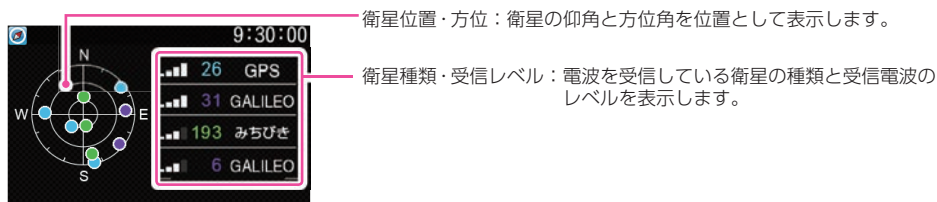
6. Gセンサー



※ 加速度の情報は、しばらく使用すると自動的に補正されます。

7. 測位情報

現在補足しているGPS衛星の測位情報を表示します。



8. プリセットA

1 段目 L(①)、1 段目 R(②)、2 段目 L(③)、2 段目 R(④)、
3 段目 L(⑤)、3 段目 R(⑥)、4 段目 L(⑦)、4 段目 R(⑧)
を表示します。

- ①★カレンダー
- ②★全衛星受信数
- ③★速度
- ④★平均速度
- ⑤★最高速度
- ⑥★エコ総合ポイント
- ⑦★前後加速度
- ⑧★左右加速度

初期値：★

※ 全項目を変更できます。(P.45)



9. プリセットB

1 段目 (①)、2 段目 (②)、3 段目 (③)、4 段目 (④)
を表示します。

- ①★カレンダー
- ②★全衛星受信数
- ③★速度
- ④★左右加速度

初期値：★

※ 全項目を変更できます。(P.45)



10. ローテーション

レーダースコープ～プリセットBの9種類の待受画面を1分ごとに順番に切り替えて表示します。

※ 切り替える順番や間隔は変更できません。

11. OFF

待受画面を表示しませんが、警報時には各種警報(音や表示)を行います。

項目変更のしかた

待受画面の[プリセットA][プリセットB]は表示項目を変更することができます。変更できる項目の詳細は  P.45を参照ください。

カレンダー	9:30:00
20/06/01	全衛星受信数 14
速度 km/h	平均速度 km/h 26
31	
最高速度 km/h	エコ総合 70
61	
前後加速度 G	左右加速度 G
-0.05	-0.01

<プリセットA>

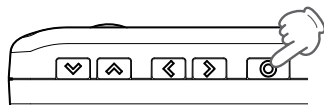
カレンダー	9:30:00
20/06/01	全衛星受信数 14
速度 km/h	46
左右加速度 G	-0.02

<プリセットB>

1. 表示項目を変更する

例：待受画面[プリセットA]の1段目Rを「GPS受信数」に変更する場合

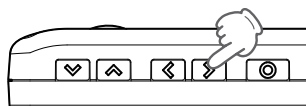
1-1 待受画面で[○]ボタンを押す



設定
かんたんモード切替
通常モード
待受

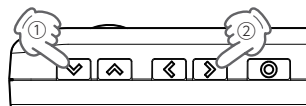
※ [かんたんモード]の場合は、[通常モード]に切り替えてください。( P.60)

1-3 [プリセットA]を選択し、[➡]ボタンを押す



待受
プリセット A
プリセット B

1-2 [▼]ボタンを押して[待受]を選択し、[➡]ボタンを押す



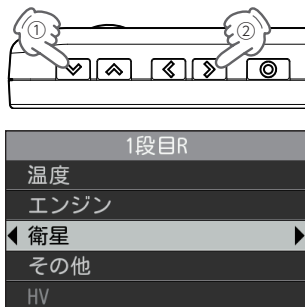
設定
かんたんモード切替
待受
警報
システム

1-4 [▼]ボタンを押して[1段目R]を選択し、[➡]ボタンを押す

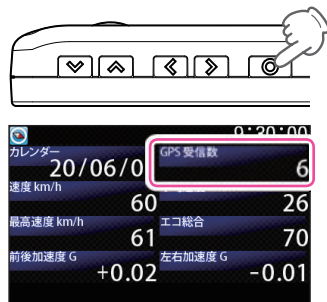


プリセット A
1段目L
1段目R
全衛星受信数
2段目L

1-5 [▼]ボタンを数回押して[衛星]を選択し、[▶]ボタンを押す

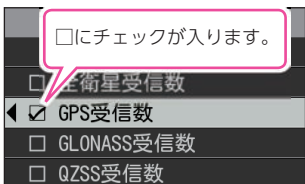


1-7 [●]ボタンを押す



待受画面に戻ります。

1-6 [▼]ボタンを押して[GPS受信数]を選択し、[▶]ボタンを押す



[GPS 受信数]に変更されます

2. 項目設定一覧

※ OBDⅡアダプターで接続していない場合や項目を取得できない車両の場合など、項目を選択することはできません。あらかじめご了承ください。

カテゴリ	No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
速度	1	速度		速度を表示します。
	2	平均速度		今回の速度の平均値を表示します。
	3	一般道平均速度	要	今回の一般道の速度の平均値を表示します。
	4	高速道平均速度	要	今回の高速道の速度の平均値を表示します。
	5	最高速度		今回の速度の最高値を表示します。
	6	5秒速度	要	発車から5秒後の速度を表示します。
	7	平均5秒速度	要	発車から5秒後の速度の平均値を表示します。
	8	最高5秒速度	要	発車から5秒後の速度の最高値を表示します。
走行時間	9	走行時間	要	今回の停車していない時間を表示します。
	10	運転時間	要	今回の運転時間を表示します。
	11	停車時間	要	今回の停車時間を表示します。
走行比率	12	走行比率	要	運転時間に対して停車している時間の比率を表示します。
	13	1-20km/h走行比率	要	各範囲の速度で走行している比率を表示します。
	14	20-40km/h走行比率	要	
	15	40-60km/h走行比率	要	
	16	60-80km/h走行比率	要	
	17	80-100km/h走行比率	要	
	18	100km/h以上走行比率	要	
	19	停車比率	要	運転時間に対して停車している時間の比率を表示します。
	20	今回エンジン走行比率	要	今回走行した距離に対して今回エンジンで走行した比率を表示します。
	21	生涯エンジン走行比率	要	生涯走行した距離に対して生涯エンジンで走行した比率を表示します。
エコドライブ 1	22	エコ総合ポイント ^{*9}		エコドライブ画面の総合ポイントを表示します。
	23	エコ加速ポイント ^{*9}		エコドライブ画面の加速ポイントを表示します。
	24	エコ減速ポイント ^{*9}		エコドライブ画面の減速ポイントを表示します。
	25	エコ経済速度ポイント ^{*9}		エコドライブ画面の経済速度ポイントを表示します。
	26	エコアイドルポイント ^{*9}		エコドライブ画面のアイドリングポイントを表示します。
	27	アイドリング停止時間 /エンジン停止時間 ^{*1}	要	今回アイドリングストップ/エンジン停止した時間の累積値を表示します。
	28	最小アイドル停止時間 /最小エンジン停止時間 ^{*1}	要	アイドリングストップ/エンジン停止した時間の最小値を表示します。
	29	最大アイドル停止時間 /最大エンジン停止時間 ^{*1}	要	アイドリングストップ/エンジン停止した時間の最大値を表示します。
	30	アイドリング時間	要	車速0でエンジンが掛かっていた時間を表示します。

カテゴリ	No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
エコ ドライブ 2	31	エンジン始動回数	要	今回エンジンを始動した回数を表示します。
	32	アイドリング停止回数 /エンジン停止回数 ^{*1}	要	今回アイドリングストップ/エンジン停止した回数を 表示します。
	33	0-10秒停止回数/0-10 秒エンジン停止回数 ^{*1}	要	
	34	10-20秒停止回数/10-20 秒エンジン停止回数 ^{*1}	要	
	35	20-30秒停止回数/20-30 秒エンジン停止回数 ^{*1}	要	
	36	30秒以上停止回数/30秒 以上エンジン停止回数 ^{*1}	要	
	37	0-10秒停止比率/0-10 秒エンジン停止比率 ^{*1}	要	アイドリングストップ/エンジン停止時間の各範囲の 比率を表示します。
	38	10-20秒停止比率/10-20 秒エンジン停止比率 ^{*1}	要	
	39	20-30秒停止比率/20-30 秒エンジン停止比率 ^{*1}	要	
	40	30秒以上停止比率/30秒 エンジン停止比率 ^{*1}	要	
加速度	41	前後加速度		前後方向の加速度を表示します。
	42	左右加速度		左右方向の加速度を表示します。
	43	最大加速度		加速度の最大値を表示します。
	44	最大減速度		減速度の最大値を表示します。
	45	最大左右加速度		左右加速度の最大値を表示します。
加速時間	46	0-20km/h 加速時間	要	発車から各速度に達するまでにかかった時間を表示し ます。
	47	0-40km/h 加速時間	要	
	48	0-60km/h 加速時間	要	
	49	0-80km/h 加速時間	要	
	50	0-100km/h 加速時間	要	
	51	0-20km/h 平均加速	要	発車から各速度に達するまでにかかった時間の平均時 間を表示します。
	52	0-40km/h 平均加速	要	
	53	0-60km/h 平均加速	要	
	54	0-80km/h 平均加速	要	
	55	0-100km/h 平均加速	要	
圧力	56	相対インマニ圧	要	インマニ圧の相対値を表示します。
	57	最大相対インマニ圧	要	インマニ圧の最大相対値を表示します。
	58	絶対インマニ圧	要	インマニ圧の絶対値を表示します。
	59	最大絶対インマニ圧	要	インマニ圧の最大絶対値を表示します。
	60	ブースト圧	要	ブースト圧の相対値を表示します。
	61	最大ブースト圧	要	ブースト圧の最大値を表示します。

カテゴリ	No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
燃費	62	瞬間燃費 ^{*2}	要	瞬間の燃費を表示します。
	63	今回燃費 ^{*2} (注1)	要	今回走行時での燃費の平均値を表示します。 ※ 電源ONごとにリセットされます。
	64	最大今回燃費 ^{*2} (注1)	要	今回走行時での燃費の最大値を表示します。
	65	平均燃費 ^{*2} (注1)	要	燃費の平均値を表示します。
	66	一般道平均燃費 ^{*2} (注1)	要	一般道での燃費の平均値を表示します。
	67	高速道平均燃費 ^{*2} (注1)	要	高速道での燃費の平均値を表示します。
	68	生涯燃費 ^{*2} (注2)	要	OBD情報オールクリアするまでの燃費の平均値を表示します。
	69	移動平均燃費 ^{*2}	要	直近16km区間での燃費を表示します。
	70	最大移動平均燃費	要	16km区間での移動平均燃費の最大値を表示します。
燃料	71	燃料流量	要	燃料の流量を表示します。
	72	平均燃料流量	要	今回走行時での燃料流量の平均値を表示します。
	73	最大燃料流量	要	今回走行時での燃料流量の最大値を表示します。
	74	残燃料	要	残りの燃料を表示します。
	75	燃料レベル	要	残りの燃料レベル(割合)を表示します。
	76	今回消費燃料	要	今回走行時の消費燃料を表示します。
	77	消費燃料(注1)	要	消費燃料を表示します。
	78	生涯消費燃料(注2)	要	OBD情報オールクリアするまでの消費燃料を表示します。
距離	79	今回走行距離	要	今回走行時での走行距離を表示します。
	80	走行距離(注1)	要	走行距離を表示します。
	81	生涯走行距離(注2)	要	OBD情報オールクリアするまでの走行距離を表示します。
	82	今回エンジン走行距離	要	エンジンで走行した距離を表示します。
	83	生涯エンジン走行距離	要	OBD情報オールクリアするまでのエンジンで走行した距離を表示します。
温度	84	エンジン水温	要	エンジン冷却水の温度を表示します。
	85	最高エンジン水温	要	エンジン水温の最高値を表示します。
	86	吸気温	要	吸気温度を表示します。
	87	最高吸気温	要	吸気温の最高値を表示します。
	88	外気温 ^{*3}	要	外気温度を表示します。
	89	最高外気温	要	外気温の最高値を表示します。
	90	エンジン油温 ^{*4}	要	エンジンオイルの温度を表示します。
	91	最高エンジン油温 ^{*4}	要	エンジン油温の最高値を表示します。
エンジン	92	スロットル開度 ^{*5}	要	スロットルバルブの開度の平均値を表示します。
	93	平均スロットル開度	要	今回走行時のスロットル開度の平均値を表示します。
	94	最大スロットル開度	要	今回走行時のスロットル開度の最大値を表示します。
	95	エンジン負荷 ^{*5}	要	エンジンにかかる負荷を表示します。
	96	平均エンジン負荷	要	今回走行時のエンジン負荷の平均値を表示します。
	97	最大エンジン負荷	要	今回走行時のエンジン負荷の最大値を表示します。
	98	MAF	要	エンジンに吸気される空気量を表示します。

カテゴリ	No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
エンジン	99	INJ	要	インジェクション噴射時間を表示します。
	100	点火時期	要	エンジン点火プラグの点火時期を表示します。
	101	回転数	要	エンジン回転数を表示します。
	102	平均回転数	要	今回走行時の回転数の平均値を表示します。
	103	最高回転数	要	今回走行時の回転数の最高値を表示します。
衛星	104	全衛星受信数		現在の全衛星受信数を表示します。
	105	GPS 受信数		現在のGPS 受信数を表示します。
	106	GLONASS 受信数		現在のGLONASS 受信数を表示します。
	107	QZSS 受信数		現在のQZSS 受信数を表示します。
	108	SBAS 受信数		現在のSBAS 受信数を表示します。
	109	GALILEO 受信数		現在のGALILEO 受信数を表示します。
その他	110	OFF		項目を表示しません
	111	カレンダー		カレンダーを表示します。
	112	バッテリー電圧 ^{*5}	要	バッテリー電圧値を表示します。
	113	バッテリー電流 ^{*5}	要	バッテリー電流値を表示します。
HV	114	HV システムパワー ^{*6}	要	エンジン・モーターを含めた出力を表示します。
	115	HV Fr モータパワー ^{*6}	要	フロントモーターの出力を表示します。
	116	HV Rr モータパワー ^{*6}	要	リヤモーターの出力を表示します。
	117	HV Rr トルク配分 ^{*6}	要	リヤモーターへのトルク配分を表示します。
	118	HV バッテリー電圧 ^{*6}	要	HV バッテリーの電圧値を表示します。
	119	HV バッテリー電流 ^{*6}	要	HV バッテリーの充放電の電流値を表示します。
	120	HV 補機バッテリー電圧 ^{*6}	要	HV 補機バッテリーの電圧を表示します。
	121	HV 補機バッテリー電流 ^{*7}	要	HV 補機バッテリーの電流を表示します。
	122	HV 全電池容量 ^{*6}	要	バッテリーの充電率を表示します。
	123	HV エンジンパワー ^{*6}	要	エンジンの出力を表示します。
	124	HV 昇圧後電圧 ^{*6}	要	HV バッテリーの昇圧された電圧値を表示します。
	125	HV アクセル開度 ^{*6*8}	要	アクセルの踏みこみ量を表示します。 アクセルペダルを踏んでいなくても、0%にならない場合があります。
	126	HV エアコン消費電力 ^{*6}	要	現在のエアコン消費電力を表示します。
	127	HV ジェネレータ発電量 ^{*6}	要	充電用発電機の発電量を表示します。
	128	HV 滑空 ^{*6}	要	モーター / エンジンで駆動している時は「+」、電力を 回生している時は「-」で表示します。

注1：「OBD設定」→「平均クリア」でリセットされます。

注2：「OBD設定」→「オールクリア」でのみリセットします。「平均クリア」ではリセットされません。

※1：トヨタハイブリッド車に別売品のOBDⅡアダプター（OBD12-MⅢ、OBD-HVTM）を装着時のみ項目名が切り替わります。

※2：消費燃料および移動距離から燃費を算出しているため、車両の燃費と一致しない場合があります。数値の補正はできません。

※3：車両によっては、センサーの位置により車外の気温と異なる場合があります。

※4：別売品のOBDⅡアダプター（OBD12-MⅢ）を装着時のみ選択できます。

※5：アイドリング中でも0%にならない場合があります。

※6：トヨタハイブリッド車に別売品のOBDⅡアダプター（OBD12-MⅢ、OBD-HVTM）を装着時のみ選択できます。

※7：トヨタハイブリッド車に別売品のOBDⅡアダプター（OBD12-MⅢ）を装着時のみ選択できます。

※8：アクセルペダルを踏み込んでいなくても0%にならない場合があります。

※9：エコドライブのポイント(pt)は弊社独自の採点方法で、「急加速(Accel)」、「急減速(Brake)」、「アイドリング(Idling)」、「経済速度(Speed)」から算出した総合点(Total)です。

警報画面について

1. 警報画面について

本機に登録されたGPSターゲットに近づく、警報画面切替(警報 1000M/500M) (● P.64)のときは、待受画面からターゲットの存在をお知らせするレーダースコープに切り替わります。走行している道路の先にあるGPSターゲットを前もって知ることができます。

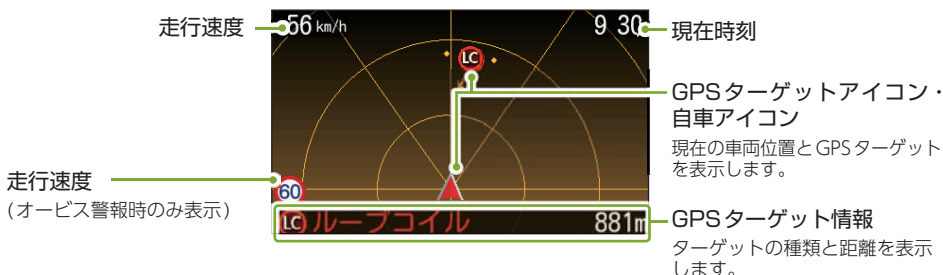
※「警報画面切替」(● P.64)で、[待受固定]を選択の場合は、画面が切り替わりません。

■ GPSターゲット警報時

(例)時計



(例)レーダースコープ



※ 制限速度表示は、オービス(ループコイル/LHシステム/新Hシステム/レーダー式オービス/レーザー式オービス)と一部の取締エリア警報時に表示します。

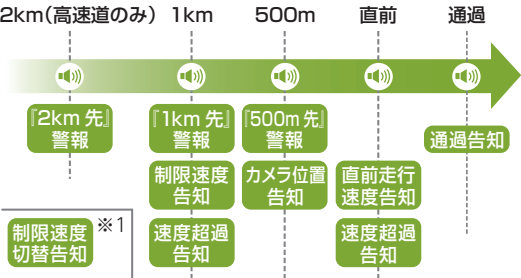
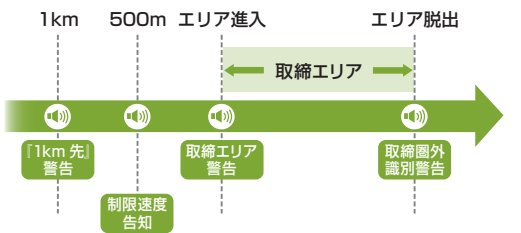
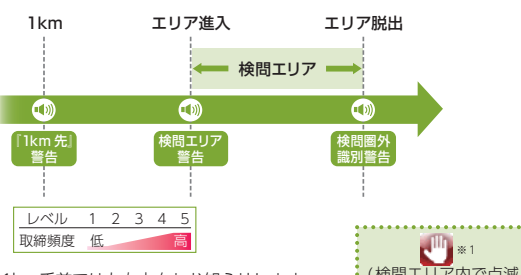
※ 表示される時刻・速度・距離はGPSの受信状況により、誤差を生じることがあります。

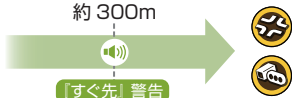
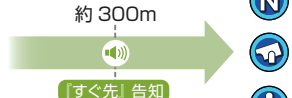
※ 走行速度やGPSターゲットまでの距離、自車アイコンは、GPSやGセンサー、VPSにより計測し表示させています。状況によっては実際と異なる場合もあります。

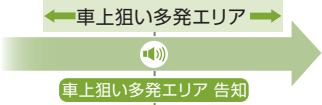
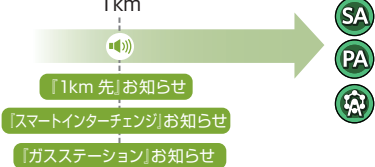
※ GPS非測位時、推定速度は表示しません。

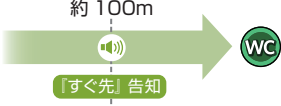
警報ボイスについて

1. GPSターゲット57識別について

ターゲットの種類		お知らせするタイミング(距離)
	ループコイル	 2km(高速道のみ) 1km 500m 直前 通過 「2km 先」警報 「1km 先」警報 「500m 先」警報 通過告知 制限速度告知 カメラ位置告知 直前走行速度告知 制限速度切替告知※1 速度超過告知 速度超過告知 ※1：制限速度切替告知は、高速道路の制限速度切替ポイントでお知らせします。
	新Hシステム	
	LHシステム	
	レーダー式 (小型オービス含む)	
	レーザー式オービス	
	移動オービスエリア	 1km 500m エリア進入 エリア脱出 「1km 先」警告 取締エリア警告 取締エリア 取締圏外識別警告 制限速度告知 レベル 1 2 3 4 5 取締頻度 低 高 ※1 (取締エリア内で点滅) ※ 1km手前では左右方向もお知らせします。 ※ 「トンネル内追尾式取締エリア」、 「トンネル出口直後速度取締エリア」から脱出した場合は、取締圏外識別警告は行いません。
	速度取締エリア	
	追尾式取締エリア	
	交差点取締エリア	
	その他取締エリア	
	一時停止取締エリア	 約100m 「すぐ先」警告
	シートベルト検問	 1km エリア進入 エリア脱出 「1km 先」警告 検問エリア警告 検問圏外識別警告 レベル 1 2 3 4 5 取締頻度 低 高 ※1 (検問エリア内で点滅) ※ 1km手前では左右方向もお知らせします。
	携帯電話検問	
	飲酒検問	
	その他の検問	

ターゲットの種類		お知らせするタイミング(距離)
	交差点監視ポイント	 約 300m 「すぐ先」警告
	信号無視抑止システム	
	高速交通警察隊	 500m 「500m先」警告
駐車監視エリア		駐車監視エリア内で停車  駐車監視エリア 駐車最重点(重点)エリア 告知 ※1 (駐車監視エリア内で点灯)
	一時停止注意ポイント	 約 100m 「すぐ先」警告 ※ 東京都23区内、名古屋市内、大阪市内の一時停止注意ポイントが登録されています。
	マイエリア	 1km 500m 通過 「1km 先」警告 「500m先」警告 通過告知
ゾーン30エリア		 エリア告知 エリア
	ラウンドアバウト	 約 300m 「すぐ先」告知
	要注意踏切 ・事故多発踏切 ・通学路注意踏切 ・歩道狭隘踏切 ・歩行者ボトルネック踏切 ・自動車ボトルネック踏切 ・開かずの踏切	 500m 「500m先」告知
	Nシステム	 約 300m 「すぐ先」告知
	交通監視システム	
	事故多発エリア	

ターゲットの種類		お知らせするタイミング(距離)
	警察署	
	交番	
車上狙い多発エリア		車上狙い多発エリアで停車   ※ 1 (車上狙い多発エリア内で点灯)
	踏切	約 200m 
	急(連続)カーブ ※ 高速道路のみ	カーブにさしかかったら 
 	分岐(合流)ポイント ※ 高速道路のみ	分岐にさしかかったら  合流にさしかかったら 
	ETCレーン	ETCレーンにさしかかったら  ※ ETCレーンの位置によって「右側/左側/中央/両サイド」でお知らせします。 ※ 交通量や時間によるETCレーンの位置変更には対応しておりません。目安としてお考えください。
	サービスエリア	1km 
	パーキングエリア	
	ハイウェイオアシス	

ターゲットの種類		お知らせするタイミング(距離)
	高速道 長/連続トンネル	
	道の駅	
	ビューポイント パーキング	
	ハイウェイラジオ 受信エリア	
	県境告知	
	消防署	
	公衆トイレ	
	(駐車禁止エリア付近) 駐車場	サイレント警報 レーダースコープ上のアイコンで表示します。
	充電ステーション	

※ 1：待受画面が「レーダースコープ」では、アイコンは表示しません。

※ 普通自動車の制限速度でお知らせします。

※ トンネル出口ターゲットとトンネル内オービスは直前走行速度告知を行いません。

※ トンネル出口ターゲットと制限速度が登録されていない場合は制限速度告知を行いません。

※ トンネル出口ターゲットはカメラ位置告知を行いません。

※ 事故や天候、時間帯などによって変更される制限速度には対応しておりません。

※ 本機に登録されている検問エリア/取締エリアは過去のデータに基づいています。頻度などは目安としてお考えください。

2. Wアラーム(ダブルアラーム)について

音(電子音/ボイス/クワイアットボイス/メロディ)と画面表示のダブルで警報します。

※ レーダー波受信時の音(レーダー警報音)は変更できます。(P.55、64)

3. オートクワイアットについて

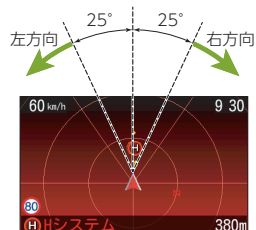
レーダー波/レーザー光の受信が約30秒以上続くと、自動的に警報音の音量が小さくなります。

4. 左右方向認識ボイスについて

GPS警報は、ターゲットが進行方向に対して、右手または左手方向に約25°以上のとき、「右方向」または「左方向」のボイスを付加して、その方向をお知らせします。

※『右方向』、『左方向』のボイスは、告知時点でのターゲット方向であり、右車線、左車線を示す訳ではありません。

※ ターゲットまでの距離が非常に近い場合は、左右方向認識ボイスをお知らせしないこともあります。



5. オービスロケーションについて

オービスの手前500mで目標物(交差点・バス停・陸橋・高速のキロポストなど)と、オービスの種類などのアナウンスをより安全でわかりやすく行います。

レーザー式取締について

1. レーザー光受信機能について

本機は背面にあるレーザー受光部に、レーザー光を受信すると警報します。

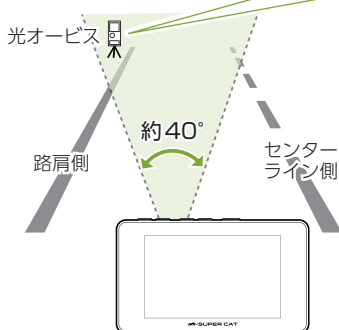
※ レーザー受光部に受信しないと警報しません。取り付け位置や環境などによって受信できない場合があります。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。

⚠ 注意

- 一部の車種に採用されているUV、IRカットガラスのなかに、レーザー光の透過率が低く取締レーザー光の探知距離が短くなる、または受信できない場合があります。
- レーザー式車両検知器/自動車用先進運転支援システムの周辺では取締レーザー光の探知距離が短くなる、または受信できない場合があります。
- 取締レーザー光以外でも以下の周辺では反応する場合がありますが、これは誤動作ではありませんのでご了承ください。(レーザー式車両検知器/自動車用先進運転支援システムの一部)
- 本体の背面は進行方向に向けてください。進行方向以外に向けた場合、誤警報や警報しないことがあります。

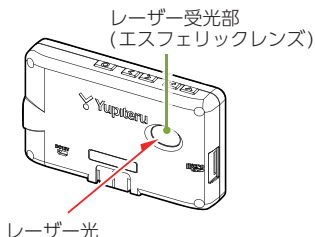
■ 探知範囲：水平約40°

イメージ図



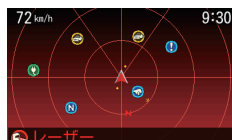
光オービス(新型レーザー式移動オービス)

レーザー光を対象の車両に向けて発射し、その反射光で速度を算出します。



レーザー光発信源の位置を表示することはできません。

レーザー光の受信を警報する画面は、レーザー光を受信したことを表示しています。発信源の位置や距離については表示されません。本機の近くで取締に関係するレーザー光が発信されていることを警報します。



<レーザー光受信時警報>



取締レーダー波について

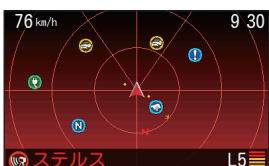
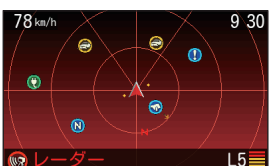
1. レーダー波3識別(iDSP)について

本機は、iDSP/統合的デジタル信号処理技術 (integrated Digital Signal Processing Technology) により、ステルス型取締機の「一瞬で強い電波」に対しては、ただ単に警報するだけでなく、通常波と区別して警報画面とボイスでお知らせします。さらに、アイキャンセル (P.69) により取締波かどうかを識別し、誤警報を抑えます。

※ iDSPはステルス型の取締機に対して完全対応という訳ではありません。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。

※ 新Hシステムの断続的なレーダー波を受信した際も、通常のレーダー波と同じ警報となります。

■ レーダー波3識別

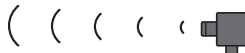
種 類		
ステルス波	通常レーダー波	キャンセル告知
		

2. 後方受信について

iDSPによる超高精度識別およびエクストラの超高感度受信により、後方からの取締レーダー波もしっかり受信します。

3. 接近テンポアップ(電子音選択時のみ)について

取締レーダー波発信源への接近に伴う電波強度の変化に合わせて電子音のテンポが上がっていきます。



発信源との距離	遠い	近い
電子音	『ピロ・ピロ』	『ピーーーー』断続音から連続音
受信レベル(1～5)	L1  ▶ L2  ▶ L3  ▶ L4  ▶ L5 	

無線について

$$\boxed{\text{レーザー光}} + \boxed{\text{GPS}} + \boxed{\begin{matrix} \text{Xバンド} \\ \text{Kバンド} \end{matrix}} + \boxed{\text{無線14バンド}} = \boxed{18}^{\text{BAND}}$$

本機は、レーザー光、取締レーザー波のX・KツインバンドとGPSの3バンドの他に、無線14バンド受信をプラスし、18バンド受信ができます。

無線発信源の位置を表示することはできません

無線の受信を警報する画面は、無線を受信したことを表示しています。発信源の位置や距離については表示されません。本機の近くで取締に関係する無線が発信されていることを警報します。

1. 無線 14バンド受信機能

無線の種類	説 明
カーロケ無線 (カーロケーターシステム)  『カーロケ近接受信です』 『カーロケ遠方受信です』 『カーロケ圏外です』* ※ カーロケ無線の発信源が遠かった可能性が高いとき	「無線自動車動態表示システム」のことで、警察の通信司令本部がパトカーなどの移動局の現在位置をリアルタイムで地図上に表示し、把握するためのシステムです。カーロケーターシステムを搭載した移動局は、GPSによる緯度・経度情報をデジタル化し、それを407.7MHz帯の周波数でデータ伝送しています。本機は、それを受信することにより、移動局が近くにいることを警報します。 ※ カーロケーターシステム搭載車であっても、カーロケ無線が使用されていない場合は、受信できないことがあります。 ※ カーロケーターシステムは全国的に新システムへと移行しています。現在は受信できる地域でも、新システム移行後は受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。新システムに移行した地域では、カーロケ無線の警報ができません。 ※ 受信のタイミングによっては、実際の移動局の接近と警報にズレが生じる場合があります。
取締無線  『取締無線です』	スピード違反やシートベルト着用義務違反の取締現場では、350.1MHzの電波で無線連絡が行われることがあります。本機は、それを受信することにより、近くで取締が行われていることを警報します。 ※ 無線を使わず、有線で通信が行われる場合があります。この場合は警報されません。
デジタル無線  『デジタル無線です』	各都道府県警察本部と移動端末間で交信するためのもので、移動端末から各都道府県警察本部へ送信する際に、159～160MHz帯の周波数が使われていますので、その電波受信により、移動局が近くにいる可能性が高いことを察知できます。事前に察知することにより、緊急車両の通行の妨げにならないようにするなど、安全走行に役立ちます。
取締特小無線  『特小無線です』	取締現場では、取締無線(350.1MHz)の他に、特定小電力無線が利用される場合があります。 ※ 取締をしていても、この無線を使用していない場合があります。この場合は警報されません。
署活系無線  『署活系無線です』	パトロール中の警察官が警察本部や他の警察官との連絡用として使われる無線が署活系無線です。

無線の種類	説 明
警察電話 📞『警察電話です』	移動警察電話(移動警電)ともいい、警察専用の自動車携帯電話システムのことです。
警察活動無線 📞『警察活動無線です』	主に機動隊の連絡用無線で、行事などの警備用として、限られた範囲で使用されている無線です。
レッカー無線 📞『レッカー無線です』	主に関東/東海/阪神の一部地域で、レッカー業者が駐車違反や事故処理のときに、連絡用として簡易業務用無線を使用しています。 ※ 他の簡易業務用無線を受信しても、レッカー無線警報をすることがあります。
ヘリテレ無線 📞『ヘリテレ無線です』	ヘリコプターを使って事件や事故処理、または取締を行うときなどに地上との連絡用として使用します。 ※ 一部地域や一部ヘリコプターで、ヘリテレ無線が装備されていない場合や、使用されていない場合は受信できないことがあります。
消防ヘリテレ無線 📞『消防ヘリテレ無線です』	ヘリコプターを使った火事の事故処理、または火事現場との連絡用として使われます。 ※ 一部地域や一部ヘリコプターで、消防ヘリテレ無線が装備されていない場合や、使用されていない場合は受信できないことがあります。
消防無線 📞『消防無線です』	災害・救助活動で使用する消防用署活系無線(携帯用400MHz帯)です。 ※ 消防本部等で広域に使用されているVHF帯(150MHz帯)の通信は受信できませんので、ご了承ください。
新救急無線 📞『新救急無線です』	救急車と消防本部の連絡用として使われる無線のうち、首都圏の特定の地域で使われているのが新救急無線です。
高速道路無線 📞『高速道路無線です』	NEXCO 東日本、NEXCO 中日本、NEXCO 西日本の業務連絡用無線で、主に渋滞や工事・事故情報などでパトロール車両と本部との連絡に使用されています。
警備無線 📞『警備無線です』	主に警備会社が使用する無線です。

2. ベストパートナー 6 識別

カーロケ無線、取締無線、デジタル無線などの無線の受信状態からシミュレーションし、快適ドライブのベストパートナーとして、安全走行のためのタイムリーな情報をお知らせします。

また、カーロケ無線（407.7MHz帯の電波）を受信したとき、その発信元の遠近を自動識別し、さらに発信元が圏外になったと思われる場合もお知らせします。

※ カーロケ無線やベストパートナーは、カーロケ無線が受信可能な一部地域のみはたります。

[検問注意：特許 第4119855 号]

[並走追尾注意/ すれ違い/ 圏外識別：特許 第3780262 号]

■ ベストパートナー機能を使用するには「カーロケ無線」「取締無線」「デジタル無線」の設定（☛ P.69）をすべて「ON」にする必要があります。

※ いずれかの無線がOFFの状態では、一部のベストパートナー機能がはたきません。

※ 警報モードが「ミニマム」の状態では、ベストパートナー機能がはたきません。

無線の種類		説 明
並走追尾注意	🔊『スピード注意』 (2回くり返し)	緊急車両が近くにいる可能性が高いとき
すれ違い注意	🔊『遠ざかりました』 (2回くり返し)	近くにいると思われる緊急車両などが、遠ざかった可能性が高いとき
取締注意	🔊『取締注意』 (2回くり返し)	比較的近くで取締などが行われている可能性が高いとき
検問注意	🔊『検問注意』 (2回くり返し)	比較的近くで検問などが行われている可能性が高いとき
カーロケ遠近識別	🔊『カーロケ近接受信です』 『カーロケ遠方受信です』	緊急車両などが近接している時や、遠方にいる可能性が高いとき
カーロケ圏外識別	🔊『カーロケ圏外です』	カーロケ受信の発信元が遠ざかった可能性が高いとき

3. 無線警報音について

各無線を受信すると、受信した音声を聞くことができ、受信終了後に無線ジャンルを音声でお知らせします。

※ 30秒以内に同じ無線ジャンルを受信した場合は、音声によるお知らせを行わず、受信した音声のみ聞こえます。

※ 無線を音声受信している場合に、取締レーダー波を受信すると、両方の音が重なって聞こえます。

※ カーロケ無線（☛ P.57）とベストパートナー6識別は、復調を行わず、音声によるお知らせのみとなります。

交信音声受信機能[特許出願中]

受信した音声を聞くことができる交信音声受信機能(復調)を搭載しておりますが、デジタル方式や、デジタル信号での通信は、受信しても内容はわかりません。また、各無線交信は、数秒間で終わることが多いため、交信内容を完全に聞き取ることができない場合もあります。

設定変更について

本機には、シンプルなかんたん設定ができる「かんたんモード(初期値)」と、詳細に設定できる「通常モード」があります。使用用途に合わせて切り替えてください。

1. 設定モード切替について

※「通常モード」から「かんたんモード」に切り替えると、かんたん設定にない項目は初期値で固定になります。

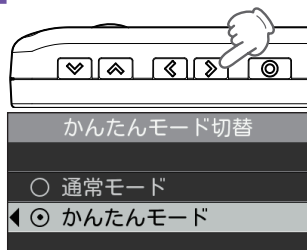
※「かんたんモード」「通常モード」の共通の項目は、設定を引き継ぎます。

例：「かんたんモード」から「通常モード」へ切り替える場合

1-1 待受画面で[○]ボタンを押す



1-2 [▶]ボタンを押す



1-3 [▲]ボタン押し[通常モード]を選択し、[▶]ボタンを押す



「通常モードに設定」と表示され通常モードに切り替わり、自動で設定メニューに戻ります。

■かんたんモード

「かんたん設定」…………… (P.62)

「OBD」*1 …………… (P.76)

「設定終了」…………… 設定を終了して待受画面に戻ります。

■通常モード

「待受」…………… (P.64)

「警報」…………… (P.64)

「システム」…………… (P.67)

「OBD」*1 …………… (P.76)

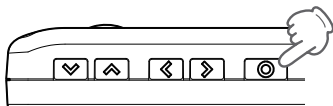
「設定終了」…………… 設定を終了して待受画面に戻ります。

※ 1：別売品のOBDIIアダプター装着時のみ表示されます。

2. 設定変更のしかた

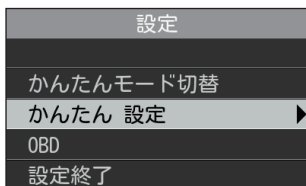
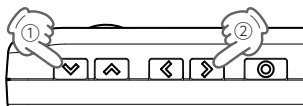
例：かんたんモードで画面明るさを[ふつう]から[最小]に変更する場合

2-1 待受画面で[●]ボタンを押す

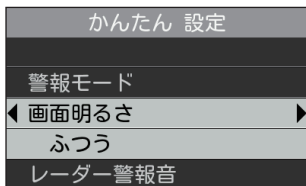
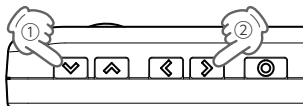


※ [通常モード]の場合は、[かんたんモード]に切り替えてください。(● P.60)

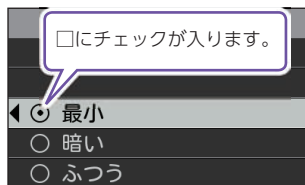
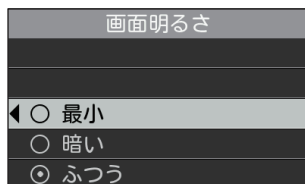
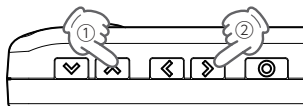
2-2 [▼]ボタンを押して[かんたん設定]を選択し、[▶]ボタンを押す



2-3 [▼]ボタンを押して[明るさ]を選択し、[▶]ボタンを押す

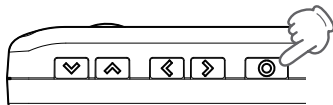


2-4 [▲]ボタンを数回押して[最小]を選択し、[▶]ボタンを押す



明るさが[最小]に変更されます

2-5 [●]ボタンを押す



待受画面を表示します。

かんたんモードについて

「かんたんモード」はシンプルな「かんたん設定」ができます。

1. かんたん設定について

★：初期値

設 定	設定値	説 明
警報モード (P.69)	★ノーマル ミニマム スペシャル オールオン マニュアル	本機の警報モードを5種類から選択します。 ※ マニュアルの設定を変更する場合は、通常モードにしてマニュアル個別設定より変更してください。 (P.72)
画面明るさ	最小 暗い ★ふつう 明るい	画面の明るさを4段階で調整します。
レーダー警報音 (P.63)	電子音 ボイス クワイアットボイス ★メロディ 1 メロディ 2 メロディ 3 メロディローテーション	レーダー受信時の警報音を7種類から選択します。
レーザー警報音 (P.63)	電子音 ボイス ★メロディ	レーザー受信時の警報音を3種類から選択します。
無線警報音 (P.63)	★ボイス 復調 ボイスクラシック 復調クラシック OFF	無線受信時の警報音を5種類から選択します。
初期化 ^{※1}	取消し 初期化	「設定」「マイエリア」「マイキャンセル」「ログ」「エコポイント」を工場出荷状態にします。
バージョン	—	「本体バージョン(ソフトウェアのバージョン)」と「コンテンツバージョン(登録されているGPSデータ情報)」が表示されます。

※ 1：初期化すると元に戻せませんのでご注意ください。

※ 1：OBDIIアダプターより取得したデータは削除されません。OBDの項目のオールクリアデータで消去を行ってください。(P.68)

●レーダー警報音 (P.62、64)

電子音	『ピッピッピッ…』という電子音で警報します。
ボイス	♪効果音のあとに、『スピード注意』とボイスで警報します
クワイアットボイス	♪効果音のあとに、『レーダーです』と約10秒に1回ボイスで警報します。
メロディ 1	オリジナルメロディ パターン1(メロディ 1)で警報します。
メロディ 2	オリジナルメロディ パターン2(メロディ 2)で警報します。
メロディ 3	オリジナルメロディ パターン3(メロディ 3)で警報します。
メロディローテーション	レーダー波を受信するごとに、3曲のメロディアラーム(メロディ1→メロディ2→メロディ3の順)で警報します。

●レーザー警報音 (P.62、64)

電子音	『ピッピッピッ…』という電子音で警報します。
ボイス	♪効果音のあとに、『レーザーです』とボイスで警報します
メロディ 1	オリジナルメロディで警報します。

●無線警報音 (P.62、64)

ボイス	各無線を受信すると、ボイスが1フレーズ鳴ります。 ※ 30秒以内に同じ無線を受信した場合は、ボイスのお知らせはありません。 ※ ボイスが鳴っているときに、取締レーダー波/レーザー光を受信した場合、レーダー警報またはレーザー警報が優先されます。
復調	各無線を受信すると、受信した音声を聞くことができ、受信終了後に無線ジャンルをボイスでお知らせします。 ※ 30秒以内に同じ無線ジャンルを受信した場合は、ボイスによるお知らせを行わず、受信した音声のみ聞こえます。 ※ デジタル方式やデジタル信号での通信は、受信しても内容はわかりません。 ※ 各無線交信は、数秒間で終わることが多いため、交信内容を完全に聞き取ることができない場合もあります ※ 無線を音声受信している場合に、取締レーダー波/レーザー光を受信すると、両方の音が重なって聞こえます。 ※ カーロケ無線 (P.57) とベストパートナー 6 識別 (P.59) は、復調を行わず、ボイスによるお知らせのみとなります。
ボイスクラシック	各無線を受信すると、電子音とボイスが1フレーズ鳴ります。無線の種類によって電子音の種類が違います。 ※ 30秒以内に同じ無線を受信した場合は、ボイスのお知らせはありません。 ※ ボイスが鳴っているときに、取締レーダー波/レーザー光を受信した場合、レーダー警報またはレーザー警報が優先されます。
復調クラシック	各無線を受信すると、受信した音声を聞くことができ、受信終了後に無線ジャンルを電子音とボイスでお知らせします。 ※ 30秒以内に同じ無線ジャンルを受信した場合は、ボイスによるお知らせを行わず、受信した音声のみ聞こえます。 ※ デジタル方式やデジタル信号での通信は、受信しても内容はわかりません。 ※ 各無線交信は、数秒間で終わることが多いため、交信内容を完全に聞き取ることができない場合もあります ※ 各無線を音声受信している場合に、取締レーダー波/レーザー光を受信すると、両方の音が重なって聞こえます。 ※ カーロケ無線 (P.57) とベストパートナー 6 識別 (P.59) は、復調を行わず、ボイスによるお知らせのみとなります。
OFF	すべての無線警報を行いませんのでご注意ください。

通常モードについて

「通常モード」は個別で詳細に設定できます。

1. 待受設定について

★：初期値

設 定	設定値	説 明
プリセットA (P.45)	1 段目L(★カレンダー) 1 段目R(★全衛星受信数) 2 段目L(★速度) 2 段目R(★平均速度) 3 段目L(★最高速度) 3 段目R(★エコ総合ポイント) 4 段目L(★前後加速度) 4 段目R(★左右加速度)	プリセットA画面で表示する項目を設定できます。
プリセットB (P.45)	1 段目L(★カレンダー) 2 段目L(★全衛星受信数) 3 段目L(★速度) 4 段目L(★左右加速度)	プリセットB画面で表示する項目を設定できます。

2. 警報設定について

★：初期値

設 定	設定値	説 明
警報モード (P.69)	★ノーマル ミニマム スペシャル オールオン マニュアル	本機の警報モードを5種類から選択します。 ※ マニュアルの設定を変更する場合は、通常モードにしてマニュアル個別設定より変更してください。 (P.72)
警報画面切替 (P.65)	待受固定 ★警報 500M切替 警報 1000M切替	警報時に、待受画面からレーダースコープに切り替わるタイミングを変更できます。
レーダー受信感度 (P.65)	OFF シティ エクストラ ★AAC/ASS AAC/CUSTOM	レーダーの受信感度を5種類から選択します。
レーダー警報音 (P.63)	電子音 ボイス クワイアットボイス ★メロディ 1 メロディ 2 メロディ 3 メロディローテーション	レーダー受信時の警報音を7種類から選択します。

設 定	設定値	説 明
レーザー受信 (P.66)	ON/AAC有効 ★ON/AAC無効 OFF	レーザー受信時の警報条件を選択します。
レーザー警報音 (P.63)	電子音 ボイス ★メロディ	レーザー受信時の警報音を3種類から選択します。
オービスロケーション	★ON OFF	ONにするとオービス手前500mで目標物とオービスの種類などのアナウンスを行います。
無線警報音 (P.63)	★ボイス 復調 ボイスクラシック 復調クラシック OFF	無線受信時の警報音を5種類から選択します。
道路選択 (P.66)	一般道 高速道 オール ★オート	GPS 警報する道路を4種類から選択します。 ※ GPS57識別警報のハイウェイオアシスは「一般道」に設定された場合も告知されます。

●警報画面切替

待受固定	待受画面を表示したまま、レーダースコープに切り替わりません。 (待受画面がレーダースコープの場合は画面は変化しません。)
警報 500M切替	ターゲットまで500mの距離になった時に、待受画面からレーダースコープに切り替わります。
警報 1000M切替	ターゲットまで1000mの距離になった時に、待受画面からレーダースコープに切り替わります。

●レーダー受信感度

OFF	レーダー受信警報を行いません。
シティ	市街地(低感度)
エクストラ	郊外や高速道路(中間度)
AAC/ASS	走行速度によって受信感度が変化します。 0km/h~29km/h………警報しません。 30km/h~39km/h ……[シティ]になります。 40km/h~ ……[エクストラ]になります。 ※ 電源ON後、GPS測位するまでの間はエクストラになります。 ※ 走行中にGPS測位ができなくなると、常に「警報する」状態になり、時間経過でエクストラに変化します。(別売品のOBDⅡアダプター (P.12) で接続されている場合を除く。)

AAC/CUSTOM	警報速度：レーダー受信警報を行う速度を設定します。 0km/h以上、10km/h以上、20km/h以上、30km/h以上、40km/h以上、50km/h以上、60km/h以上、70km/h以上、80km/h以上、90km/h以上、100km/h以上から設定します。
	警報レベル：レーダー受信警報を行う受信レベルを設定します。 ALL……………レベル1以上(全て)で警報します。 レベル2以上……………レベル2~5で警報します。 レベル3以上……………レベル3~5で警報します。 レベル4以上……………レベル4~5で警報します。 レベル5のみ……………レベル5のみで警報します。 ※ GPS測位できない状態では、走行速度に関係なく設定した受信レベル以上になると警報します。(別売品のOBDIIアダプター(● P.12)で接続されている場合を除く。) ※ 受信レベルの詳細は、● P.56「取締レーダー波について」を参照ください。 ※ 受信感度はエクストラになります。

・ AAC/不要警報カット

走行速度が時速30km未満はレーダー波の受信警報をカットします。停車中や低速走行中に自動ドアなどの電波を受信しても誤警報することはありません。

・ ASS/最適感度選択

走行速度に合わせて最適な受信感度を自動的に選択します。

※ GPS測位機能 (別売品のOBDIIアダプター(● P.12)で接続されている場合は、OBDII車速検知)により AAC/不要警報カットや ASS/最適感度選択がはたります。

●レーダー受信

ON/AAC有効 ON/AAC無効	ON/AAC有効……………時速30km/h以上のときに警報を行います。 ON/AAC無効……………全ての速度で警報を行います。 ※ 電源ON後、GPS測位するまでの間はAAC無効になります。 ※ 走行中にGPS測位ができなくなると、常に「警報する」状態になります。 (別売品のOBDIIアダプター(● P.12)で接続されている場合を除く。)
OFF	レーダー受信警報を行いません。

●道路選択

一般道	一般道のターゲットのみ警報します。
高速道	高速道のターゲットのみ警報します。
オール	一般道および高速道のすべてのターゲットを警報します。
オート	走行道路(一般道が高速道)をGPSの位置情報で自動的に識別します。 一般道と識別できたときは一般道のターゲットのみ警報し、高速道と識別できたときは高速道のターゲットのみ警報します。 ※ 一般道と高速道が並行していたり交差している場所およびその周辺などで走行道路の識別が困難な状況では、一般道/高速道の両方のターゲットを表示・警報することがあります。 ※ GPS測位が困難な状況では、正しく識別できないことがあります。 ※ 高速道を走行している時間が短い場合は、高速道に識別されないことがあります。 ※ 渋滞等により高速道で低速走行もしくは停車している場合は、高速道に識別されません。

3. システム設定について

★：初期値

設 定	設定値	説 明
画面明るさ	最小 暗い ★ふつつ 明るい	画面の明るさを4段階で調整します。
フレックスディマー (👁 P.68)	★衛星情報 OBDイルミ連動	画面の明るさの切り替えを選択します。
音設定 (🔊 P.68)	ボイスモード (★ノーマル)	本機のお知らせ内容を切り替えることができます。
	操作音 (★ON)	ONにすると操作時に音が出ます。
	起動音 (★ON)	ONにすると起動時に音が出ます。
	時報 (★ON)	ONにすると毎時、正時になると時刻をお知らせします。
	測位アナウンス (★ON)	ONにすると衛星の測位、非測位時に音声でお知らせします。
	リラックスチャイム (★2時間)	休憩を促すアナウンス時間を選択します。
画面反転	ON ★OFF	画面表示を上下反転します。
初期化※1	エコドライブ	70ポイント※2にリセットされます。
	設定初期化	各設定項目をお買い上げ時の状態にリセットします。
ログ機能	ON ★OFF	走行データを約18時間分記録します。 ※ 測位および走行の状況により記録する時間は異なります。
ログ出力	—	ログ機能で記録された走行ログをSDカードにコピーします。
消去	ログデータ	各データを消去します。ログデータ/マイエリア/キャンセルエリア(マイキャンセルエリア、アイキャンセル)を個別に消去できます。
	マイエリア	
	キャンセルエリア	
デモモード	スタート	レーダー受信やGPS警報などの音声や待受画面を表示します。 ※ デモモードを終了する時は各ボタンを押してください。
バージョン	—	本体バージョン(ソフトウェアのバージョン)と「コンテンツバージョン(登録されているGPSデータ情報)」が表示されます。

※1：一度実行すると元に戻せませんのでご注意ください。

※2：エコドライブのポイント(pt)は弊社独自の採点方法で、「急加速(Accel)」、「急減速(Brake)」、「アイドリング(Idling)」、「経済速度(Speed)」から算出した総合点(Total)です。

●フレックスディマー

衛星情報	衛星情報により画面明るさを切り替えます。
OBDイルミ連動	イルミ信号により明るさを切り替えます。 ※ [OBDイルミ連動] は OBDII アダプターによる接続でイルミの情報が取得できる車両にのみ有効です。

●音設定

・ボイスモード

ノーマル	従来のレーダー探知機と同様の警報を行います。
アシスタント	ノーマルに加え、「あいさつ ^{※3} 」「ベストパートナー ^{※4} 」「日没告知 ^{※5} 」「オービスカウントダウン(残り距離 400mから) ^{※6} 」を追加します。
アドバイス	アシスタントに加え、「オービスカウントダウン(残り距離 900mから) ^{※6} 」「その他 ^{※7} 」を追加します。

※ 3：起動時に GPS 測位すると、時間や日付によりあいさつします。

※ 4：従来の電波受信での警報に加え、レーダー波・無線・GPS の複合で判断します。

※ 5：GPS によって計算された日没時間になるとお知らせします。

※ 6：オービスに接近したときに、100m ごとに距離をお知らせします。カウントダウン中に他の警報が発生した場合は、警報が優先されカウントダウンはスキップされます。

※ 7：安全やエコに関するお知らせをします。「エコドライブ告知(エコドライブのポイントが満点になったときや減点になったとき)」

・リラックスチャイム

30分/1時間/2時間	設定時間おきに、『長時間運転しています。休憩しませんか?』と音声でお知らせします。
OFF	休憩を促すアナウンスを行いません。

4. OBD 設定について

※ 別売品の OBDII アダプター装着時のみ表示されます。

設 定	設定値	説 明
満タンスタート (P.76)	取消し 満タンスタート	実走行による走行距離、給油量により燃費数値の精度を高めます。
満タン補正 (P.77)	—	満タンスタート後の実走行による走行距離、給油量の入力により燃費数値の制度が上がり、本機内に補正係数が登録されます。
係数補正 (P.78)	—	オールクリアをした場合に、以前算出した係数を入力することにより、満タンスタート・満タン補正が不要になります。
平均クリア	取消し 全消去	画面ないの平均燃費の値をリセットします。満タン補正の直後に行くと、これまでの平均燃費がクリアされ新たに計算を開始します。 平均クリアを行っても、補正係数はクリアされません。
オールクリア	取消し 初期化	OBDII アダプターで受け取った車両に関する本機内の数値をリセットします。燃費の補正係数もクリアされるので満タンスタート・満タン補正を行わないと性格な燃費が表示されません。

警報モードについて

本機には、プリセットが4種類(「ノーマルモード」、「ミニマムモード」、「スペシャルモード」、「オールオンモード」)と、お好みにより機能を個別に設定できる「マニュアルモード」が用意されています。

★：初期値

種 類	説 明
★ノーマルモード	機能同士のバランスを重視したモードです。
ミニマムモード	レーダー、無線、GPS すべてにおいて、最低限の項目だけをONに設定します。
スペシャルモード	取締に関する項目を重視した内容に設定します
オールオンモード	すべての機能をONに設定します。
マニュアルモード	項目別にON/OFFを設定できます。

■ 項目一覧

項 目		ノーマル モード	ミニマム モード	スペシャル モード	オールオン モード	マニュアル モード	詳細説明 ページ
		以下の内容で設定されており変更はできません。				設定内容を変更 できます。*1	
レーダー	Iキャンセル	ON	ON	OFF	ON	ON	72
	キャンセルサウンド	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	反対車線キャンセル	ON	ON	OFF	ON	ON	
無線	無線受信感度	LO	LO	HI	HI	LO	73
	カーロケ無線	ON	ON	ON	ON	ON	
	取締無線	ON	ON	ON	ON	ON	
	デジタル無線	ON	OFF	ON	ON	ON	
	特小無線	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	署活系無線	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	警察電話無線	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	警察活動無線	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	レッカー無線	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	ヘリテレ無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	消防ヘリテレ無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	消防無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	新救急無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	高速道路無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	警備無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	

項 目		ノーマル モード	ミニマム モード	スペシャル モード	オールオン モード	マニュアル モード	詳細説明 ページ
		以下の内容で設定されており変更はできません。				設定内容を変更 できます。*1	
GPS	オービス	ON	ON	ON	ON	ON	73
	直前速度告知	ON	ON	ON	ON	ON	
	通告知	ON	ON	ON	ON	ON	
	制限速度告知	ON	ON	ON	ON	ON	
	カメラ位置告知	ON	ON	ON	ON	ON	74
	制限速度切替告知	ON	ON	ON	ON	ON	
	速度超過告知	ON	ON	ON	ON	ON	
	取締エリア	レベル3以上	OFF	ALL	ALL	レベル3以上	
	検問エリア	レベル3以上	OFF	ALL	ALL	レベル3以上	
	交差点監視ポイント	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	信号無視抑止	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	高速交通警察隊	ON	OFF	ON	ON	ON	
	駐禁監視エリア	ON	OFF	ON	ON	ON	
	一時停止注意	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	N システム	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	交通監視システム	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	警察署	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	交番	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	事故多発エリア	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	車上狙いエリア	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	急カーブ	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	分岐合流ポイント	OFF	OFF	ON	ON	OFF	75
	踏切	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	ETCレーン	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	SA(サービスエリア)	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	PA(パーキングエリア)	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	ハイウェイオアシス	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	スマートIC	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	ガソリンスタンド	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	トンネル	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	ハイウェイラジオ	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	県境	ON	ON	ON	ON	ON	
	道の駅	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	ビューポイント パーキング	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	駐車場	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	

項 目		ノーマル モード	ミニマム モード	スペシャル モード	オールオン モード	マニュアル モード	詳細説明 ページ
		以下の内容で設定されており変更はできません。				設定内容を変更 できます。※1	
GPS	消防署	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	75
	公衆トイレ	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	ゾーン30	ON	OFF	ON	ON	OFF	
	ラウンドアバウト	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	要注意踏切	ON	ON	ON	ON	ON	
	充電ステーション	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	

※ 1：設定内容をする場合は、通常モードにしてください。かんたんモードでは設定内容を変更できません。

マニュアル個別設定について

マニュアルモードの設定内容を個別に設定できます。

※ 通常モードで[マニュアル](● P.64) 選択時に表示されます。

※ かんたんモードでは表示されません。マニュアル設定を行う場合は、通常モードに切り換えてください。
(● P.60)

■ レーダー

★：マニュアルモード初期値

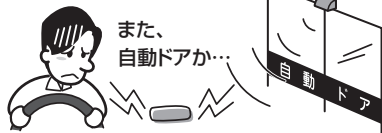
設 定	設定値	説 明
Iキャンセル	★ON OFF	自動ドアなどがあり、電波を発信していて誤警報する場所を通過した際、GPSの位置情報を自動で登録し、2回目以降通過時に電波を受信した場合、レーダー警報をキャンセルします。
キャンセルサウンド	ON ★OFF	Iキャンセル中、マイキャンセル中に10秒ごとに「キャンセル中です」と、お知らせします。
反対キャンセル	★ON OFF	[新Hシステム][レーダー式オービス]の反対車線で、レーダー波の受信機能をキャンセルします。(反対車線オービスキャンセル機能)

● Iキャンセル(アイキャンセル) [特許 第3902553号、第4163158号]

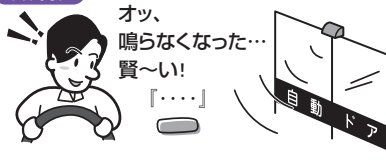
・Iキャンセルの仕組み

- ① 取締レーダー波と同じ電波を受信すると警報。[1回目]
- ② 取締レーダー波かどうかを識別。
- ③ 誤警報と思われる場合、「誤警報エリア」として自動登録。
- ④ 同じ地点で電波を受信しても警報をキャンセル。[2回目以降]

Before



After



登録数は、Iキャンセル、マイエリア、マイキャンセルエリアの合計で10,000箇所まで可能です。10,000箇所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

※ GPS測位していないときや誤警報エリアの状況によっては、誤警報がキャンセルされない場合があります。

※ Iキャンセルされないエリアでは、マイキャンセルを合わせてご利用ください。

※ Iキャンセルを[OFF]に設定すると、Iキャンセル機能を停止させることができます。

※ 自動登録したエリアは、Iキャンセルの設定や電源OFFしても記憶されています。

※ 登録されたエリアをすべて消去したい場合は、設定メニューから行ってください。(● P.62、67)

■ 無線

★：マニュアルモード初期値

設 定	設定値	説 明
無線受信感度	Hi ★LO	無線の受信感度をH(高感度)、LO(低感度)で選択します。
カーロケ無線	★ON OFF	緊急車両などが発信するカーロケーターシステムを受信したときに、警報します。
取締無線	★ON OFF	取締現場で使用されている可能性のある無線(350.1MHz)を受信したときに、警報します。
デジタル無線	★ON OFF	緊急車両が使用している可能性のあるデジタル無線(159 ~ 160MHz)を受信したときに、お知らせします。
特小無線	ON ★OFF	取締現場で使用される可能性のある特定小電力無線を受信したときに、お知らせします。
署活無線	ON ★OFF	パトロール中の警察官が連絡用として使用する署活系無線を受信したときに、お知らせします。
警察電話無線	ON ★OFF	警察専用の自動車携帯電話システムを受信したときに、お知らせします。
警察活動無線	ON ★OFF	機動隊などが連絡用などで使用する無線を受信したときに、お知らせします。
レッカー無線	ON ★OFF	主にレッカー業者が駐車違反や事故処理の時に連絡用として使用する業務用無線を受信したときに、お知らせします。
ヘリテレ無線	ON ★OFF	ヘリコプターを使って事件や事故処理、取締を行うときに使用する無線を受信したときに、お知らせします。
消防ヘリテレ無線	ON ★OFF	ヘリコプターを使った火事の事故処理や火災現場との連絡用に使用する無線を受信したときに、お知らせします。
消防無線	ON ★OFF	災害、救助活動で使用する無線(400MHz)を受信したときに、お知らせします。
新救急無線	ON ★OFF	救急車が使用している無線を受信したときに、お知らせします。
高速道路無線	ON ★OFF	NEXCOが使用している業務用無線を受信したときに、お知らせします。
警備無線	ON ★OFF	主に警備会社が使用している無線を受信したときに、お知らせします。

■ GPS

★：マニュアルモード初期値

設 定	設定値	説 明
オービス	★ON OFF	設置式の数値取締装置[ループコイル][新Hシステム][LHシステム][レーザー式オービス][レーザー式オービス]が接近したときに、警報します。
直前速度通知	★ON OFF	オービスに接近したときに自車速度を、お知らせします。
通過告知	★ON OFF	オービスを通過したときに通過を、お知らせします。

設 定	設定値	説 明
制限速度告知	★ON OFF	ターゲットのおよそ1km手前で制限速度を、お知らせします。
カメラ位置告知	★ON OFF	オービスのおよそ500m手前でカメラの位置を、お知らせします。
制限速度切替告知	★ON OFF	高速道路で制限速度が切り替わるポイントで、お知らせします。
速度超過告知	★ON OFF	制限速度に対して速度が超過しているときに、お知らせします。
取締エリア	OFF ALL レベル2以上 ★レベル3以上 レベル4以上 レベル5のみ	過去に取締が行われていた場所[移動オービス][速度取締][交差点取締][その他取締]に接近したときに、警告します。
検問エリア	OFF ALL レベル2以上 ★レベル3以上 レベル4以上 レベル5のみ	過去に検問が行われていた場所[シートベルト検問][携帯電話検問][飲酒検問][その他の検問]に接近したときに、警告します。
交差点監視ポイント	ON ★OFF	注意すべき交差点に接近したときに、お知らせします。
信号無視抑止	ON ★OFF	信号無視抑止システムが設置されている交差点に接近したときに、お知らせします。
高速交通警察隊	★ON OFF	高速交通警察隊の待機所が接近したときに、お知らせします。
駐禁監視エリア	★ON OFF	本機に登録されている違法駐車取締ガイドラインの最重点地域・重点地域で停車したときに、お知らせします。
一時停止注意	ON ★OFF	東京23区、名古屋市内、大阪市内の一時停止注意ポイントに接近したときに、お知らせします。
Nシステム	ON ★OFF	自動車ナンバー読み取り装置に接近したときに、お知らせします。
交通監視システム	ON ★OFF	交通処理式交通流計測システムなどに接近したときに、お知らせします。
警察署	ON ★OFF	警察署に接近したときに、お知らせします。
交番	ON ★OFF	交番に接近したときに、お知らせします。
事故多発エリア	ON ★OFF	本機に登録されている事故多発エリアに接近したときに、お知らせします。
車上狙いエリア	ON ★OFF	本機に登録されている車上狙い多発エリア内で停車したときに、お知らせします。
急カーブ	ON ★OFF	本機に登録されている高速道路の急カーブ・連続カーブにさしかかったときに、お知らせします。

設 定	設定値	説 明
分岐合流ポイント	ON ★OFF	高速道路の分岐・合流ポイントにさしかかったときに、お知らせします。
踏切	ON ★OFF	踏切に接近したときに、お知らせします。
ETCレーン	ON ★OFF	ETCレーンにさしかかったときにE T Cレーンの位置を、お知らせします。 ※ 交通量や時間によるETCレーンの位置変更には対応していません。実際の交通状況に従ってください。
SA	ON ★OFF	サービスエリアに接近したときに、お知らせします。
PA	ON ★OFF	パーキングエリアに接近したときに、お知らせします。
ハイウェイオアシス	ON ★OFF	ハイウェイオアシスに接近したときに、お知らせします。
スマートIC	ON ★OFF	SA(サービスエリア)・PA(パーキングエリア)・ハイウェイオアシスにスマートICが併設されているときに、お知らせします。
ガソリンスタンド	ON ★OFF	SA(サービスエリア)・PA(パーキングエリア)・ハイウェイオアシスにガソリンスタンドが設置されているときに石油会社名とともに、お知らせします。
トンネル	ON ★OFF	高速道路の長いトンネル・連続するトンネルに接近したときに、お知らせします。
ハイウェイラジオ	ON ★OFF	高速道路のハイウェイラジオ受信エリアに接近したときに、お知らせします。
県境	★ON OFF	県境ポイントにさしかかったときに、お知らせします。 ※ 高速道路及び主要一般道路のみ
道の駅	ON ★OFF	道の駅に接近したときに、お知らせします。
ビューポイント パーキング	ON ★OFF	ビューポイントに接近したときに、お知らせします。
駐車場	ON ★OFF	駐車禁止エリア付近にある駐車場に接近したときに、お知らせします。 ※ 画像のみでお知らせし、音声でのお知らせはありません。
消防署	ON ★OFF	消防署に接近したときに、お知らせします。
公衆トイレ	ON ★OFF	公衆トイレに接近したときに、お知らせします。
ゾーン30	ON ★OFF	ゾーン30エリアに入ったときに、お知らせします。
ラウンドアバウト	ON ★OFF	ラウンドアバウトに接近したときに、お知らせします。
要注意踏切	★ON OFF	開かずの踏切や事故多発踏切など改良すべき踏切に接近したときにお知らせします。
充電ステーション	ON ★OFF	充電ステーションに接近したときにお知らせします。

OBDについて

本機能は別売品のOBDIIアダプターで接続することで、平均燃費の数値補正を行うことができます。

1. 満タンスタートをする

※ 車両が停止した状態で操作してください。

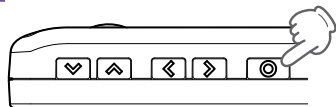
1-1 満タン給油する



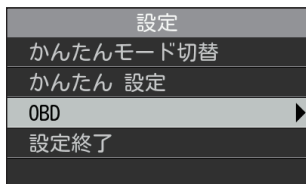
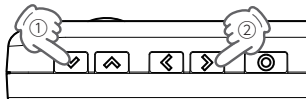
油面の位置を覚えておいてください。

※ 燃料タンクの構造により給油停止後に油面が低下します。燃料の油面低下が止まった位置を覚えておいてください。(車両によっては下がりが遅く、また低下が大きい場合があります。)

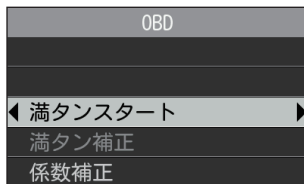
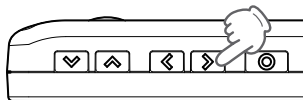
1-2 待受画面で[○]ボタンを押す



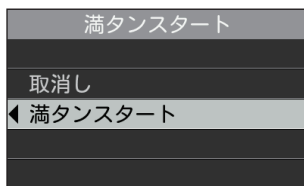
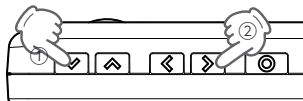
1-3 [▼]ボタンを数回押して[OBD]を選択し、[▶]ボタンを押す



1-4 [満タンスタート]を選択し、[▶]ボタンを押す



1-5 [▼]ボタンを押して[満タンスタート]選択し、[▶]ボタンを押す



※ 「満タンスタートしました」と数秒表示します。

1-6 車両のトリップメーターをリセットし走行する

満タン補正進歩率が100%になるまで走行してください。

※ 満タンスタートを何度も行うことで補正制度は向上します。

※ 満タン補正率が100%になっても走行し続けることで、それだけ補正制度が向上します。

2. 満タン補正をする

※ 満タンスタート後に行ってください。

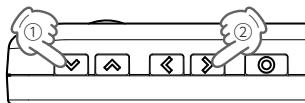
2-1 満タン給油する



前回給油時の油面位置まで給油してください。

2-2 P.76手順「1-2～1-3」を行う

2-3 [▼]ボタンを押して[満タン補正]を選択し、[▶]ボタンを押す



OBD
満タンスタート
◀ 満タン補正 ▶
満タン補正進捗率 100%
係数補正

2-4 距離を入力する

燃費補正	
距離	202.0 km
燃料	2.8 L
補正前燃費	20.8 km/L
補正後燃費	25.7 km/L
○長押しでセット	

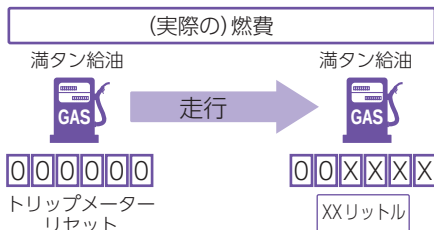
[▼][▲]ボタンを押して走行距離を入力し[▶]ボタンを押してください。

2-5 燃料(給油量)を入力する

燃費補正	
距離	202.0 km
燃料	42.4 L
補正前燃費	20.8 km/L
補正後燃費	30.0 km/L
○長押しでセット	

[▼][▲]ボタンを押して燃料(給油量)を入力し[●]ボタンを長押ししてセットしてください。

実際の燃料給油量と走行距離から計算した(実際の)燃費と画面の「平均燃費」は、計算を行う方法が異なりますので、必ず一致するというものではありません。



3. 係数補正をする

燃費計算を行う上で本機内の係数となります。この画面に表示される「距離係数」と「燃費係数」をメモしておくことにより、OBD情報オールクリアをした後でもこれまでの燃費計算に戻すことができます。

※すでにOBDIIアダプター対応の弊社製品をお使いの場合、違う機種に買い替えた場合などに係数補正を行うことにより「満タンスタート」「満タン補正」が不要になります。

※あらかじめ「満タンスタート」「満タン補正」を行って正確な補正係数を取得している場合に限りです。

※他社製品に表示されていた、雑誌等に掲載されていた、ネットに掲載されていたなどの数値を入力した場合、正常な表示・演算がされないことがあります。

3-1 P.76手順「1-2 ~ 1-3」 を行う

3-2 [▼]ボタンを数回押して[係数補正]を選択し、[▶]ボタンを押す



OBD	
満タンスタート	
満タン補正	
◀ 係数補正 ▶	
平均クリア	
OBD情報オールクリア	

3-3 距離係数を入力する

係数補正	
距離係数	1000
燃料係数	1000
補正前燃費	20.8 km/L
補正後燃費	20.8 km/L
○長押しでセット	

[▼][▲]ボタンを押して距離係数を入力し[▶]ボタンを押してください。

3-4 燃費係数を入力する

係数補正	
距離係数	1000
燃料係数	1000
補正前燃費	20.8 km/L
補正後燃費	20.8 km/L
○長押しでセット	

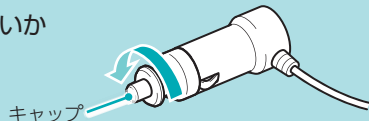
[▼][▲]ボタンを押して走行距離を入力し[●]ボタンを長押ししてセットしてください。

故障かな？と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう一度次のことをご確認ください。

電源がONにならない

- ☐ シガープラグコードが外れていませんか。
- ☐ シガーライターソケットの内部が汚れて、接触不良をおこしていませんか。
2～3回左右にひねりながらシガーライターソケットに差し込み直してください。
- ☐ シガープラグコードのヒューズが切れていないか確認してください。
キャップを矢印の方向に回してヒューズを取り出します。
- ☐ 初めてOBDⅡアダプターを車両に取り付けていませんか。
初めて起動する場合、起動に数分かかることがあります。



電源がOFFにならない

- ☐ シガーライターソケットの電源がイグニッションのON/OFFと連動してON/OFFしない車両があります。このような車両では、エンジンをOFFしても、シガーライターソケットに電源が供給されますので、本体から電源コードを外してください。
- ☐ OBDⅡアダプターを車両に取り付けていませんか。
エンジンをOFFしてから本体が電源OFFするまで、数秒から数十秒かかります。

OBDⅡアダプターを接続中に突然電源OFFになった

- ☐ OBDⅡアダプターのコネクターが外れていないか確認してください。
車両の振動等によってコネクターが緩むことがあります。

何も表示しない

- ☐ マナーモードになっていませんか。(● P.29)
[▲] ボタンを押してマナーモードを解除してください。
- ☐ 待受画面の設定が「OFF」ではありませんか。(● P.42)
[◀][▶] ボタンを押して待受画面を変更してください。



音が出ない

- ☐ 音量が「0」になっていませんか。
[▲] ボタンを押して音量を調整してください。

GPS 警報しない

- ☐ GPS 測位していましたか。
- ☐ 新たに設置されたオービスなどのターゲットではありませんか。

一般道を走行中に高速道路のターゲットをGPS 警報する

- ☐ [道路選択]の設定を[オール]でご使用の場合は、一般道と高速道の両方のターゲットを警報します。( P.66)
- ☐ 一般道と高速道が並行していたり、交差している場所およびその周辺などで走行道路の識別が困難な状況では、一般道 / 高速道の両方のターゲットを表示・警報することがあります。
- ☐ ハイウェイオアシスは、[一般道]に設定された場合もGPS 告知されます。

レーダー警報しない

- ☐ 電源ONになっていますか。
- ☐ 取締レーダー波が発射されていませんか。
計測する瞬間だけ電波を発射するステルス型や、取締準備中あるいは終了後などで、スピード測定装置から取締レーダー波が発射されていないことがあります。
- ☐ マイキャンセルエリア登録した場所ではありませんか。
- ☐ アイキャンセルしていませんか。
- ☐ 受信感度モードが「AAC/ASS」の場合、時速30km未満のときは警報しません。
- ☐ マナーモードになっていませんか。
[] ボタンを押してマナーモードを解除してください。

レーザー警報しない

- ☐ 本機の背面に障害物はありませんか。
本機背面のレーザー受光部が隠れていると、レーザー光を受けることができず警報できません。
- ☐ 本機の背面が進行方向を向いていますか。
進行方向以外に向けた場合、誤警報や警報しないことがあります。( P.55)
- ☐ レーザー受信が[ON/AAC有効]の場合、時速30km/h未満のときは警報しません。
- ☐ 一部の車種に採用されているUV、IRカットガラスのなかには、レーザー光の透過率が低く取締レーザー光の探知距離が短くなる、または受信できない場合があります。
- ☐ レーザー式車両検知器 / 自動車用先進運転支援システムの周辺では取締レーザー光の探知距離が短くなる、または受信できない場合があります。

ひんぱんにレーザー警報する

- ☐ 本機の背面が進行方向を向いていますか。
進行方向以外に向けた場合、誤警報や警報しないことがあります。(● P.55)
- ☐ レーザー受信を[ON/AAC有効]にしてください。(● P.64)
時速30km/h未満のときは警報しません。
- ☐ レーザー式車両検知器/自動車用先進運転支援システムの周辺では受信する場合があります。

取締現場なのに350.1MHzを受信しない

- ☐ 取締無線を[ON]に設定していましたか。
- ☐ 取締現場での連絡が無線方式で行われていましたか。
連絡には350.1MHzの電波を使った無線方式の他に、有線方式の場合もあります。

取締もしていないのに警報機能がはたらく

- ☐ 取締レーダー波と同じ電波が他でも使用されています。それらの電波を受信すると警報機能がはたらくことがあります。故障ではありませんので、ご了承ください。

取締レーダー波と同じ電波を使用している主な機器

電波式の自動ドア、防犯センサー/信号機の近くに設置されている車両通過計測器/NTTのマイクロウェブ通信回路の一部/気象用レーダー、航空レーダーの一部/他のレーダー探知機の一部まれに他の無線機の影響を受けることがあります。その場合は取り付け位置を変えてみてください。

ひんぱんに無線警報する

- ☐ 放送局や無線中継局、携帯電話の基地局などが近くにある場合、強い電波の影響や周囲の状況により、受信状態になることがあります。また、取り付けた車両やカーナビの画面、カーオーディオなどから強い電波が放射している場合があります。

誤警報がキャンセルされない

- ☐ [アイキャンセル]の設定はONになっていましたか。(● P.69)
- ☐ [スペシャルモード]になっていませんか。[スペシャルモード]は[アイキャンセル]の設定をONにすることができません。(● P.62、64)
- ☐ GPS測位していましたか。
- ☐ 新Hシステムやレーダー式オービスが近くにありませんでしたか。
- ☐ 取締エリア、またはマイエリア登録したエリアではありませんか。

警報の途中で警報音が小さくなる

- ☐ レーダー波/レーザー光の受信が約30秒以上続くと、警報音が小さくなります。(● P.54「オートクワイアットについて」)

速度表示が車両の速度計と異なる

- ☐ 車両の速度計は、実際より数値が高く表示される(プラス誤差)傾向があります。

※ OBDIIアダプター接続の場合でも車両の速度計とは一致しません。

※ 補正機能はありません。

OBDIIアダプター接続時に表示される待受画面の一部が表示されない

- ☐ 車種によって、待受画面の一部の項目が表示されない場合があります。(車種別の適応については、販売店または弊社ホームページでご確認ください。)

OBDIIアダプター接続時にスロットル開度が、アイドリング中でも0%にならない

- ☐ 車種によって、「スロットル開度」はエンジンがアイドリング状態でも表示が0%にならないことがあります。

OBDIIアダプター接続時に待受画面の項目の内容が、車両のメーターと異なる

- ☐ 車種によって、表示する内容は純正メーターの数値やタイミングと異なる場合があります。

仕様

電源電圧	DC12V(マイナスアース車専用)
消費電流	待機時：180mA以下 最大：280mA以下
受信方式	[GPS部] 32チャンネル/パラレル受信方式 [レーダー部] スweepオシレーター式ダブルスーパーヘテロダイン方式
測位更新時間	最短1秒
表示部	液晶ディスプレイ ワイド3.2インチ
受信周波数	[GPS部] 1.6GHz帯 [レーダー部] Xバンド / Kバンド
動作温度範囲	-20℃～+85℃(無線部：-10℃～+60℃)
外形寸法	100(W)×59(H)×18(D)mm(突起部を除く)
重量	約108g

- この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

・ゾーン30のデータについて

本機で使用している交通規制データは、公益財団法人 日本道路交通情報センター (JARTIC) の交通規制情報を使用しています。本機で使用している交通規制データは、道路交通法及び警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報、公益財団法人 日本道路交通情報センター (JARTIC) の交通規制情報を、株式会社トヨタマップマスターが加工して作成したものを使用しています。

アフターサービスについて

●保証書(裏表紙参照)

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日から3年間です。

●対象部分機器

本体(消耗部品は除く)

●修理をご依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○保証期間中のとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※ 点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。

※ 修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

1. お客様ご相談センター

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

- ・ 下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- ・ 電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
- ・ 紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

受付時間 9:00～17:00 月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

故障相談や取扱方法に関するお問い合わせ



0120-998-036

ity.クラブやデータ更新に関するお問い合わせ



0120-958-955

本機のアップデート情報や最新の取扱説明書は随時、弊社ホームページに公開されます。最新情報は弊社ホームページでご確認ください。

<https://www.yupiteru.co.jp/>